授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①（入門編） 2 簿記の概要Ⅰ②（入門編） 3 簿記の概要Ⅰ③（入門編） 4 簿記の概要Ⅰ④（入門編） 5 現金預金Ⅰ①（入門編） 6 現金預金Ⅰ②（入門編） 7 現金預金Ⅰ③（入門編） 8 債権債務Ⅰ①（入門編） 9 債権債務Ⅰ②（入門編） 10 商品売買Ⅰ①（入門編） 11 商品売買Ⅰ②（入門編） 12 商品売買Ⅰ③（入門編） 13 給料等Ⅰ①（入門編） 14 給料等Ⅰ②（入門編） 15 固定資産Ⅰ①（入門編） 16 固定資産Ⅰ②（入門編） 17 固定資産Ⅰ③（入門編） 18 固定資産Ⅰ④（入門編） 19 固定資産Ⅰ⑤（入門編） 20 ソフトウェアⅠ①（入門編） 21 ソフトウェアⅠ②（入門編） 22 債権債務Ⅰ①（入門編） 23 債権債務Ⅰ②（入門編） 24 債権債務Ⅰ③（入門編） 25 貸倒れⅠ①（入門編） 26 貸倒れⅠ②（入門編） 27 貸倒れⅠ③（入門編） 28 退職給付会計Ⅰ①（入門編） 29 退職給付会計Ⅰ②（入門編） 30 退職給付会計Ⅰ③（入門編） 31 退職給付会計Ⅰ④（入門編） 32 税金Ⅰ①（入門編） 33 税金Ⅰ②（入門編） 34 社債Ⅰ①（入門編） 35 社債Ⅰ②（入門編） 36 社債Ⅰ③（入門編） 37 純資産会計Ⅰ①（入門編） 38 純資産会計Ⅰ②（入門編） 39 純資産会計Ⅰ③（入門編） 40 純資産会計Ⅰ④（入門編） 41 有価証券Ⅰ①（入門編） 42 有価証券Ⅰ②（入門編） 43 有価証券Ⅰ③（入門編） 44 有価証券Ⅰ④（入門編） 45 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論速習応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）
	4	税効果会計Ⅰ④（入門編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）
	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計Ⅰ①（入門編） 2 本支店会計Ⅰ②（入門編） 3 本支店会計Ⅰ③（入門編） 4 本支店会計Ⅰ④（入門編） 5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編） 6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編） 7 組織再編会計Ⅰ①（入門編） 8 組織再編会計Ⅰ②（入門編） 9 組織再編会計Ⅰ③（入門編） 10 組織再編会計Ⅰ④（入門編） 11 建設業会計Ⅰ①（入門編） 12 建設業会計Ⅰ②（入門編） 13 連結会計Ⅰ①（入門編） 14 連結会計Ⅰ②（入門編） 15 連結会計Ⅰ③（入門編） 16 連結会計Ⅰ④（入門編） 17 製造業会計Ⅰ①（入門編） 18 製造業会計Ⅰ②（入門編） 19 製造業会計Ⅰ③（入門編） 20 製造業会計Ⅰ④（入門編） 21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編） 22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編） 23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編） 24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編） 25 繰延資産Ⅰ①（入門編） 26 繰延資産Ⅰ②（入門編） 27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編） 28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編） 29 ストック・オプションⅠ（入門編） 30 商品売買Ⅱ①（入門編） 31 商品売買Ⅱ②（入門編） 32 固定資産Ⅱ①（入門編） 33 固定資産Ⅱ②（入門編） 34 退職給付会計Ⅱ①（入門編） 35 退職給付会計Ⅱ②（入門編） 36 試用販売Ⅱ①（入門編） 37 試用販売Ⅱ②（入門編） 38 割賦販売Ⅱ①（入門編） 39 割賦販売Ⅱ②（入門編） 40 本支店会計Ⅱ①（入門編） 41 本支店会計Ⅱ②（入門編） 42 組織再編会計Ⅱ①（入門編） 43 組織再編会計Ⅱ②（入門編） 44 連結会計Ⅱ①（入門編） 45 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 項目別答練①（入門編） 2 項目別答練②（入門編） 3 項目別答練③（入門編） 4 項目別答練④（入門編） 5 項目別答練⑤（入門編） 6 基礎答練①（入門編） 7 基礎答練②（入門編） 8 基礎答練③（入門編） 9 基礎答練④（入門編） 10 基礎答練⑤（入門編） 11 基礎答練⑥（入門編） 12 基礎答練⑦（入門編） 13 基礎答練⑧（入門編） 14 基礎答練⑨（入門編） 15 基礎答練⑩（入門編） 16 応用答練①（入門編） 17 応用答練②（入門編） 18 応用答練③（入門編） 19 応用答練④（入門編） 20 応用答練⑤（入門編） 21 応用答練⑥（入門編） 22 応用答練⑦（入門編） 23 応用答練⑧（入門編） 24 応用答練⑨（入門編） 25 応用答練⑩（入門編） 26 過去問演習①（入門編） 27 過去問演習②（入門編） 28 過去問演習③（入門編） 29 過去問演習④（入門編） 30 過去問演習⑤（入門編） 31 過去問演習⑥（入門編） 32 過去問演習⑦（入門編） 33 過去問演習⑧（入門編） 34 過去問演習⑨（入門編） 35 過去問演習⑩（入門編） 36 問題演習実践①（入門編） 37 問題演習実践②（入門編） 38 問題演習実践③（入門編） 39 問題演習実践④（入門編） 40 問題演習実践⑤（入門編） 41 問題演習実践⑥（入門編） 42 問題演習実践⑦（入門編） 43 問題演習実践⑧（入門編） 44 問題演習実践⑨（入門編） 45 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（初級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（初級）
	3	強制換価手続（初級）
	4	担保の種類（初級）
	5	滞納処分の概要（初級）
	6	国税に優先する権利（初級）
	7	国税相互間の優先関係（初級）
	8	財産の調査（初級）
	9	最優先される被担保債権（初級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（初級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（初級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（初級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（初級）
	14	譲受前にある担保権（初級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（初級）
	16	差押の制限等、解除（初級）
	17	差押の共通手続（初級）
	18	第三者からの差押換え（初級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（初級）
	20	相続人からの差押換え（初級）
	21	動産又は有価証券の差押え（初級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（初級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（初級）
	24	国税徴収法第２６条の計算（初級）
	25	債権の差押え（初級）
	26	不動産等の差押え（初級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（初級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（初級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（初級）
	30	確認テスト（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（基礎） 2 交付要求及び督促時効（基礎） 3 参加差押え（基礎） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（基礎） 5 換価配当（基礎） 6 担保のための仮登記（基礎） 7 物上代位権との調整（基礎） 8 納期限未到来の納税の猶予（基礎） 9 災害等による一般の納税の猶予（基礎） 10 換価の猶予（基礎） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（基礎） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（基礎） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（基礎） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（基礎） 15 国税の担保（基礎） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（基礎） 17 保全措置（基礎） 18 滞納処分の停止（基礎） 19 納付委託・弁済委託（基礎） 20 第二次納税義務（通則）（基礎） 21 第二次納税義務（人的限度）（基礎） 22 第二次納税義務（物的限度）（基礎） 23 不服申立（基礎） 24 滞納処分費（基礎） 25 納付義務の承継（基礎） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（基礎） 27 増額登記（基礎） 28 質権の証明と優先権行使の否認（基礎） 29 国税徴収法第２６条準用（基礎） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（基礎） 31 総合理論対策１（基礎） 32 総合理論対策２（基礎） 33 総合理論対策３（基礎） 34 総合理論対策４（基礎） 35 総合理論対策５（基礎） 36 総合理論対策６（基礎） 37 総合理論対策７（基礎） 38 総合理論対策８（基礎） 39 総合理論対策９（基礎） 40 総合問題演習１（基礎） 41 総合問題演習１（基礎） 42 総合問題演習２（基礎） 43 総合問題演習２（基礎） 44 総合問題演習３（基礎） 45 総合問題演習３（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①（入門編） 2 簿記の概要Ⅰ②（入門編） 3 簿記の概要Ⅰ③（入門編） 4 簿記の概要Ⅰ④（入門編） 5 現金預金Ⅰ①（入門編） 6 現金預金Ⅰ②（入門編） 7 現金預金Ⅰ③（入門編） 8 債権債務Ⅰ①（入門編） 9 債権債務Ⅰ②（入門編） 10 商品売買Ⅰ①（入門編） 11 商品売買Ⅰ②（入門編） 12 商品売買Ⅰ③（入門編） 13 給料等Ⅰ①（入門編） 14 給料等Ⅰ②（入門編） 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（入門） 2 個別注記表（入門） 3 現金及び預金（入門） 4 債権債務（入門） 5 関係会社概念（入門） 6 売上原価の算定（入門） 7 貸倒れ（入門） 8 給料等（入門） 9 その他の引当金（入門） 10 退職給付会計（入門） 11 有形固定資産（入門） 12 無形固定資産（入門） 13 株主資本（入門） 14 財務諸表論の基礎概念（入門） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（入門編） 3 課税の対象②（入門編） 4 課税の対象③（入門編） 5 課税の対象④（入門編） 6 非課税①（入門編） 7 非課税②（入門編） 8 非課税③（入門編） 9 非課税④（入門編） 10 輸出免税等①（入門編） 11 輸出免税等②（入門編） 12 輸出免税等③（入門編） 13 輸出免税等④（入門編） 14 資産の譲渡等の時期（入門編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要（入門） 3 相続税法と民法（入門） 4 相続人、代襲相続（入門） 5 養子の子の取扱い（入門） 6 相続の承認と放棄（入門） 7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門） 8 遺言による財産の取得（入門） 9 相続税の納税義務者（入門） 10 生命保険金等（入門） 11 相続税の非課税財産（入門） 12 相続税額の計算方法（入門） 13 生命保険金等の非課税金額（入門） 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（初級） 2 納税義務者（初級） 3 課税所得の範囲（初級） 4 交際費等の損金不算入Ⅰ（初級） 5 減価償却Ⅰ（初級） 6 減価償却Ⅱ（初級） 7 減価償却Ⅲ（初級） 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級） 9 寄附金の損金不算入Ⅰ（初級） 10 租税公課等（初級） 11 納税充当金Ⅰ（初級） 12 納税充当金Ⅱ（初級） 13 別表四の作成（初級） 14 事業年度（初級） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（入門編） 3 課税の対象②（入門編） 4 非課税①（入門編） 5 非課税②（入門編） 6 輸出免税等①（入門編） 7 輸出免税等②（入門編） 8 資産の譲渡等の時期（入門編） 9 控除対象仕入税額①（入門編） 10 控除対象仕入税額②（入門編） 11 売上げに係る対価の返還等（入門編） 12 貸倒れが生じた場合（入門編） 13 課税仕入れの範囲①（入門編） 14 課税仕入れの範囲②（入門編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 固定資産Ⅰ①（入門編） 2 固定資産Ⅰ②（入門編） 3 固定資産Ⅰ③（入門編） 4 固定資産Ⅰ④（入門編） 5 固定資産Ⅰ⑤（入門編） 6 固定資産Ⅰ⑥（入門編） 7 固定資産Ⅰ⑦（入門編） 8 固定資産Ⅰ⑧（入門編） 9 固定資産Ⅰ⑨（入門編） 10 固定資産Ⅰ⑩（入門編） 11 ソフトウェアⅠ①（入門編） 12 ソフトウェアⅠ②（入門編） 13 債権債務Ⅰ①（入門編） 14 債権債務Ⅰ②（入門編） 15 債権債務Ⅰ③（入門編） 16 貸倒れⅠ①（入門編） 17 貸倒れⅠ②（入門編） 18 貸倒れⅠ③（入門編） 19 退職給付会計Ⅰ①（入門編） 20 退職給付会計Ⅰ②（入門編） 21 退職給付会計Ⅰ③（入門編） 22 退職給付会計Ⅰ④（入門編） 23 退職給付会計Ⅰ⑤（入門編） 24 退職給付会計Ⅰ⑥（入門編） 25 退職給付会計Ⅰ⑦（入門編） 26 退職給付会計Ⅰ⑧（入門編） 27 税金Ⅰ①（入門編） 28 税金Ⅰ②（入門編） 29 税金Ⅰ③（入門編） 30 税金Ⅰ④（入門編） 31 社債Ⅰ①（入門編） 32 社債Ⅰ②（入門編） 33 社債Ⅰ③（入門編） 34 社債Ⅰ④（入門編） 35 社債Ⅰ⑤（入門編） 36 社債Ⅰ⑥（入門編） 37 純資産会計Ⅰ①（入門編） 38 純資産会計Ⅰ②（入門編） 39 純資産会計Ⅰ③（入門編） 40 純資産会計Ⅰ④（入門編） 41 有価証券Ⅰ①（入門編） 42 有価証券Ⅰ②（入門編） 43 有価証券Ⅰ③（入門編） 44 有価証券Ⅰ④（入門編） 45 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	会計基準の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 売買目的有価証券（入門） 2 満期保有目的の債券（入門） 3 子会社株式・関連会社株式（入門） 4 その他有価証券（入門） 5 ソフトウェア（入門） 6 法人税等・追徴還付（入門） 7 現在価値計算（入門） 8 社債（入門） 9 利益剰余金（入門） 10 自己株式（入門） 11 配当（入門） 12 外形基準、租税公課（入門） 13 源泉所得税、社会保険料（入門） 14 税効果会計（入門） 15 税効果注記（入門） 16 源泉所得税、社会保険料（入門） 17 株主資本等変動計算書（入門） 18 減損会計（入門） 19 配当を受けた株主の処理（入門） 20 圧縮記帳（入門） 21 外貨建取引（入門） 22 退職給付会計簡便法（入門） 23 繰延資産（入門） 24 為替予約（入門） 25 仕入・売上げの計上基準（入門） 26 消費税等（入門） 27 他勘定振替（入門） 28 外貨建有価証券（入門） 29 リース会計（入門） 30 証券投資信託（入門） 31 ゴルフ会員権（入門） 32 売価還元法（入門） 33 製造業会計（入門） 34 研究開発費（入門） 35 新株予約権（入門） 36 キャッシュ・フロー計算書（入門） 37 損益計算書総論（入門） 38 貸借対照表総論（入門） 39 資産総論（入門） 40 棚卸資産に関する会計基準（入門） 41 連続意見書（入門） 42 引当金（入門） 43 会計観（入門） 44 金融商品（入門） 45 確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 控除対象仕入税額①（入門編） 2 控除対象仕入税額②（入門編） 3 控除対象仕入税額③（入門編） 4 控除対象仕入税額④（入門編） 5 控除対象仕入税額⑤（入門編） 6 控除対象仕入税額⑥（入門編） 7 売上げに係る対価の返還等①（入門編） 8 売上げに係る対価の返還等②（入門編） 9 売上げに係る対価の返還等③（入門編） 10 貸倒れが生じた場合①（入門編） 11 貸倒れが生じた場合②（入門編） 12 貸倒れが生じた場合③（入門編） 13 課税仕入れの範囲①（入門編） 14 課税仕入れの範囲②（入門編） 15 課税仕入れの範囲③（入門編） 16 課税仕入れの範囲④（入門編） 17 課税仕入れの範囲⑤（入門編） 18 課税仕入れの範囲⑥（入門編） 19 課税仕入れ等の時期①（入門編） 20 課税仕入れ等の時期②（入門編） 21 課税仕入れ等の時期③（入門編） 22 課税仕入れ等の時期④（入門編） 23 課税仕入れ等の時期⑤（入門編） 24 課税売上割合①（入門編） 25 課税売上割合②（入門編） 26 課税売上割合③（入門編） 27 課税売上割合④（入門編） 28 課税売上割合⑤（入門編） 29 課税売上割合⑥（入門編） 30 課税売上割合⑦（入門編） 31 課税期間における課税売上高①（入門編） 32 課税期間における課税売上高②（入門編） 33 課税期間における課税売上高③（入門編） 34 課税売上割合に準ずる割合①（入門編） 35 課税売上割合に準ずる割合②（入門編） 36 課税売上割合に準ずる割合③（入門編） 37 仕入れに係る対価の返還等①（入門編） 38 仕入れに係る対価の返還等②（入門編） 39 仕入れに係る対価の返還等③（入門編） 40 納税義務の免除①（入門編） 41 納税義務の免除②（入門編） 42 納税義務の免除③（入門編） 43 納税義務の免除④（入門編） 44 納税義務の免除⑤（入門編） 45 確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 贈与税の概要（入門） 2 贈与税の納税義務者（入門） 3 弔慰金等（入門） 4 債務控除（入門） 5 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門） 6 相続時精算課税適用財産（入門） 7 生前贈与加算相続税の総額（入門） 8 算出相続税額の計算（入門） 9 相続税額の加算（入門） 10 贈与税額控除（暦年）（入門） 11 配偶者の税額軽減（入門） 12 未成年者控除（入門） 13 障害者控除（入門） 14 確認テスト①(理論) 15 特定納税義務者（入門） 16 特定納税義務者の債務控除（入門） 17 特定納税義務者の障害者控除（入門） 18 贈与税額控除（精算）（入門） 19 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門） 20 自用家屋（入門） 21 家屋と構造上一体となっている設備（入門） 22 特別養子制度（入門） 23 生命保険契約に関する権利（入門） 24 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門） 25 法定相続人の数（入門） 26 本来の財産（入門） 27 自用地（路線に２以上の路線価が付されている宅地）（入門） 28 地区区分の異なる宅地（入門） 29 側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門） 30 普通借地権（自用借地権）（入門） 31 貸宅地（入門） 32 貸家建付地（入門） 33 貸家建付借地権（入門） 34 貸家（入門） 35 一般動産（入門） 36 たな卸商品等（入門） 37 書画骨とう品（入門） 38 預貯金（入門） 39 上場株式（入門） 40 構築物（入門） 41 貸付金債権等（入門） 42 受取手形等（入門） 43 間口が狭小な宅地等（入門） 44 角切り宅地の間口距離（入門） 45 確認テスト②(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト(理論)　２回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 貸倒損失Ⅰ（基礎） 2 貸倒損失Ⅱ（基礎） 3 貸倒損失Ⅲ（基礎） 4 貸倒損失Ⅳ（基礎） 5 貸倒引当金Ⅰ（基礎） 6 貸倒引当金Ⅱ（基礎） 7 貸倒引当金Ⅲ（基礎） 8 貸倒引当金Ⅳ（基礎） 9 欠損金Ⅰ（基礎） 10 欠損金Ⅱ（基礎） 11 欠損金Ⅲ（基礎） 12 欠損金Ⅳ（基礎） 13 外貨建取引Ⅰ（基礎） 14 外貨建取引Ⅱ（基礎） 15 外貨建取引Ⅲ（基礎） 16 外貨建取引Ⅳ（基礎） 17 有価証券Ⅰ（基礎） 18 有価証券Ⅱ（基礎） 19 有価証券Ⅲ（基礎） 20 有価証券Ⅳ（基礎） 21 収用等Ⅰ（基礎） 22 収用等Ⅱ（基礎） 23 収用等Ⅲ（基礎） 24 収用等Ⅳ（基礎） 25 所得税額控除Ⅰ（基礎） 26 所得税額控除Ⅱ（基礎） 27 所得税額控除Ⅲ（基礎） 28 所得税額控除Ⅳ（基礎） 29 国庫補助金等Ⅰ（基礎） 30 国庫補助金等Ⅱ（基礎） 31 国庫補助金等Ⅲ（基礎） 32 国庫補助金等Ⅳ（基礎） 33 別表五㈠の作成Ⅰ（基礎） 34 別表五㈠の作成Ⅱ（基礎） 35 別表五㈠の作成Ⅲ（基礎） 36 別表五㈠の作成Ⅳ（基礎） 37 圧縮記帳Ⅰ（基礎） 38 圧縮記帳Ⅱ（基礎） 39 圧縮記帳Ⅲ（基礎） 40 圧縮記帳Ⅳ（基礎） 41 圧縮記帳Ⅴ（基礎） 42 圧縮記帳Ⅵ（基礎） 43 圧縮記帳Ⅶ（基礎） 44 圧縮記帳Ⅷ（基礎） 45 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の時期①（入門編） 2 課税仕入れ等の時期②（入門編） 3 課税売上割合①（入門編） 4 課税売上割合②（入門編） 5 課税期間における課税売上高①（入門編） 6 課税期間における課税売上高②（入門編） 7 課税売上割合に準ずる割合①（入門編） 8 課税売上割合に準ずる割合②（入門編） 9 仕入れに係る対価の返還等（入門編） 10 納税義務の免除（入門編） 11 国境を越えた役務の提供①（入門編） 12 国境を越えた役務の提供②（入門編） 13 国境を越えた役務の提供③（入門編） 14 中間申告に係る納付税額の計算（入門編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）
	4	税効果会計Ⅰ④（入門編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）
	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）
	7	分配可能額②（入門）
	8	分配可能額③（入門）
	9	分配可能額④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）
	16	セール＆リースバック①（入門）
	17	セール＆リースバック②（入門）
	18	セール＆リースバック③（入門）
	19	セール＆リースバック④（入門）
	20	セール＆リースバック⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）
	26	負債①（入門）
	27	負債②（入門）
	28	負債③（入門）
	29	負債④（入門）
	30	負債⑤（入門）
	31	純資産会計①（入門）
	32	純資産会計②（入門）
	33	純資産会計③（入門）
	34	純資産会計④（入門）
	35	純資産会計⑤（入門）
	36	企業結合会計①（入門）
	37	企業結合会計②（入門）
	38	企業結合会計③（入門）
	39	企業結合会計④（入門）
	40	企業結合会計⑤（入門）
	41	事業分離会計①（入門）
	42	事業分離会計②（入門）
	43	事業分離会計③（入門）
	44	事業分離会計④（入門）
	45	事業分離会計⑤（入門）
	46	四半期財務諸表①（入門）
	47	四半期財務諸表②（入門）
	48	四半期財務諸表③（入門）
	49	四半期財務諸表④（入門）
	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	51	ヘッジ会計①（入門）
	52	ヘッジ会計②（入門）
	53	ヘッジ会計③（入門）
	54	ヘッジ会計④（入門）
	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	56	包括利益①（入門）
	57	包括利益②（入門）
	58	包括利益③（入門）
	59	包括利益④（入門）
	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）
	4	国境を越えた役務の提供④（入門編）
	5	国境を越えた役務の提供⑤（入門編）
	6	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	7	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類①（入門編）
	9	課税仕入れ等の分類②（入門編）
	10	課税仕入れ等の分類③（入門編）
	11	課税仕入れ等の分類④（入門編）
	12	課税仕入れ等の分類⑤（入門編）
	13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）
	14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）
	15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）
	16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）
	20	納税義務の免除の特例①（入門編）
	21	納税義務の免除の特例②（入門編）
	22	納税義務の免除の特例③（入門編）
	23	納税義務の免除の特例④（入門編）
	24	納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	25	納税義務の免除の特例⑥（入門編）
	26	納税義務の免除の特例⑦（入門編）
	27	納税義務の免除の特例⑧（入門編）
	28	納税義務の免除の特例⑨（入門編）
	29	納税義務の免除の特例⑩（入門編）
	30	納税義務の免除の特例⑪（入門編）
	31	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①(入門編)
	32	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②(入門編)
	33	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③(入門編)
	34	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④(入門編)
	35	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	36	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	37	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	38	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）
	39	課税標準①（入門編）
	40	課税標準②（入門編）
	41	課税標準③（入門編）
	42	課税標準④（入門編）
	43	課税標準⑤（入門編）
	44	課税標準⑥（入門編）
	45	簡易課税制度①（入門編）
	46	簡易課税制度②（入門編）
	47	簡易課税制度③（入門編）
	48	簡易課税制度④（入門編）
	49	簡易課税制度⑤（入門編）
	50	簡易課税制度⑥（入門編）
	51	簡易課税制度⑦（入門編）
	52	簡易課税制度⑧（入門編）
	53	簡易課税制度⑨（入門編）
	54	簡易課税制度⑩（入門編）
	55	簡易課税制度⑪（入門編）
	56	簡易課税制度⑫（入門編）
	57	簡易課税制度⑬（入門編）
	58	簡易課税制度⑭（入門編）
	59	簡易課税制度⑮（入門編）
	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	使用貸借により借り受けた宅地等（入門）
	2	使用貸借により貸し付けられた宅地等（入門）
	3	使用貸借により貸し付けられた家屋（入門）
	4	小規模宅地等の減額①（入門）
	5	小規模宅地等の減額②（入門）
	6	小規模宅地等の減額③（入門）
	7	小規模宅地等の減額④（入門）
	8	小規模宅地等の減額⑤（入門）
	9	小規模宅地等の減額⑥（入門）
	10	確認テスト①（理論）
	11	取引相場のない株式①（入門）
	12	取引相場のない株式②（入門）
	13	取引相場のない株式③（入門）
	14	取引相場のない株式④（入門）
	15	取引相場のない株式⑤（入門）
	16	取引相場のない株式⑥（入門）
	17	取引相場のない株式⑦（入門）
	18	取引相場のない株式⑧（入門）
	19	取引相場のない株式⑨（入門）
	20	取引相場のない株式⑩（入門）
	21	取引相場のない株式⑪（入門）
	22	取引相場のない株式⑫（入門）
	23	取引相場のない株式⑬（入門）
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（入門）
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（入門）
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権（入門）
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（入門）
	28	利用区分が異なる建物（入門）
	29	建築中の家屋（入門）
	30	不整形地（入門）
	31	地積規模の大きな宅地（入門）
	32	がけ地等を有する宅地（入門）
	33	旗竿状の宅地等（入門）
	34	容積率の異なる宅地（入門）
	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（入門）
	36	確認テスト②（理論）
	37	私道の用に供されている宅地（入門）
	38	セットバックを必要とする宅地（入門）
	39	上場株式（権利落）（入門）
	40	株式の割り当てを受ける権利（入門）
	41	宅地等の評価単位（入門）
	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林（入門）
	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（入門）
	44	立木、立木の評価減（入門）
	45	配当期待権（入門）
	46	贈与税が課税される場合（入門）
	47	相続税が課税される場合（入門）
	48	負担付遺贈・贈与（入門）
	49	贈与税の非課税財産（入門）
	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
	51	契約者貸付金等がある場合の保険金（入門）
	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（入門）
	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門）
	54	証券投資信託受益証券（入門）
	55	ゴルフ会員権（入門）
	56	不動産投資信託証券（入門）
	57	措法７０の非課税（入門）
	58	権利義務の承継（入門）
	59	贈与税の配偶者控除（入門）
	60	確認テスト③（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）　３回分の平均点100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	役員判定Ⅰ（入門）
	2	役員判定Ⅱ（入門）
	3	役員給与Ⅰ（入門）
	4	役員給与Ⅱ（入門）
	5	使用人給与Ⅰ（入門）
	6	使用人給与Ⅱ（入門）
	7	特定資産の買換えⅠ（入門）
	8	特定資産の買換えⅡ（入門）
	9	外国税額控除Ⅰ（入門）
	10	外国税額控除Ⅱ（入門）
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）
	13	みなし配当金Ⅰ（入門）
	14	みなし配当金Ⅱ（入門）
	15	資本等取引Ⅰ（入門）
	16	資本等取引Ⅱ（入門）
	17	交換差益Ⅰ（入門）
	18	交換差益Ⅱ（入門）
	19	別表五㈡Ⅰ（入門）
	20	別表五㈡Ⅱ（入門）
	21	リース取引Ⅰ（入門）
	22	リース取引Ⅱ（入門）
	23	繰延資産Ⅰ（入門）
	24	繰延資産Ⅱ（入門）
	25	確定決算型Ⅰ（入門）
	26	確定決算型Ⅱ（入門）
	27	グループ法人税制Ⅰ（入門）
	28	グループ法人税制Ⅱ（入門）
	29	資産の評価損益Ⅰ（入門）
	30	資産の評価損益Ⅱ（入門）
	31	保険料Ⅰ（入門）
	32	保険料Ⅱ（入門）
	33	設立事業年度Ⅰ（入門）
	34	設立事業年度Ⅱ（入門）
	35	組織再編税制Ⅰ（入門）
	36	組織再編税制Ⅱ（入門）
	37	工事の請負Ⅰ（入門）
	38	工事の請負Ⅱ（入門）
	39	修正申告Ⅰ（入門）
	40	修正申告Ⅱ（入門）
	41	税効果会計Ⅰ（入門）
	42	税効果会計Ⅱ（入門）
	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）
	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）
	45	スピンオフ税制Ⅰ（入門）
	46	スピンオフ税制Ⅱ（入門）
	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
	51	地方法人税Ⅰ（入門）
	52	地方法人税Ⅱ（入門）
	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
	55	借地権等Ⅰ（入門）
	56	借地権等Ⅱ（入門）
	57	償還差損益Ⅰ（入門）
	58	償還差損益Ⅱ（入門）
	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）
	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	42	税金Ⅰ①（入門編）
	43	税金Ⅰ②（入門編）
	44	税金Ⅰ③（入門編）
	45	税金Ⅰ④（入門編）
	46	社債Ⅰ①（入門編）
	47	社債Ⅰ②（入門編）
	48	社債Ⅰ③（入門編）
	49	社債Ⅰ④（入門編）
	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）
	18	その他有価証券（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）
	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	32	減損会計（入門・基礎）
	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	35	外貨建取引（入門・基礎）
	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	37	繰延資産（入門・基礎）
	38	為替予約（入門・基礎）
	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	40	消費税等（入門・基礎）
	41	他勘定振替（入門・基礎）
	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	43	リース会計（入門・基礎）
	44	証券投資信託（入門・基礎）
	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
	46	売価還元法（入門・基礎）
	47	製造業会計（入門・基礎）
	48	研究開発費（入門・基礎）
	49	新株予約権（入門・基礎）
	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	53	資産総論（入門・基礎）
	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	55	連続意見書（入門・基礎）
	56	引当金（入門・基礎）
	57	会計観（入門・基礎）
	58	金融商品（入門・基礎）
	59	収益性の低下（入門・基礎）
	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類①（入門編） 2 課税仕入れ等の分類②（入門編） 3 課税仕入れ等の分類③（入門編） 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編） 5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編） 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編） 7 納税義務の免除の特例①（入門編） 8 納税義務の免除の特例②（入門編） 9 納税義務の免除の特例③（入門編） 10 納税義務の免除の特例④（入門編） 11 納税義務の免除の特例⑤（入門編） 12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編） 13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編） 14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編） 15 課税標準①（入門編） 16 課税標準②（入門編） 17 簡易課税制度①（入門編） 18 簡易課税制度②（入門編） 19 簡易課税制度③（入門編） 20 簡易課税制度④（入門編） 21 軽減税率①（入門編） 22 軽減税率②（入門編） 23 旧税率に関する経過措置①（入門編） 24 旧税率に関する経過措置②（入門編） 25 複数税率の場合の計算①（入門編） 26 複数税率の場合の計算②（入門編） 27 国等に対する特例①（入門編） 28 国等に対する特例②（入門編） 29 特殊項目③（税抜経理方式）（入門編） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	国税通則法及び各種税法における基礎知識並びに納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計事務所における実務経験に基づき国税等に関する考え方や具体的な計算処理の方法等について講義を行う。
授業計画	1 国税徴収法の目的（入門） 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（入門） 3 強制換価手続（入門） 4 担保の種類（入門） 5 滞納処分の概要（入門） 6 国税に優先する権利（入門） 7 国税相互間の優先関係（入門） 8 財産の調査（入門） 9 最優先される被担保債権（入門） 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（入門） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（入門） 12 不動産賃貸の先取特権等（入門） 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（入門） 14 譲受前にある担保権（入門） 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（入門） 16 差押の制限等、解除（入門） 17 差押の共通手続（入門） 18 第三者からの差押換え（入門） 19 差押換え（換価申立ての細部）（入門） 20 相続人からの差押換え（入門） 21 動産又は有価証券の差押え（入門） 22 第三者が占有する動産等の差押手続（入門） 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（入門） 24 国税徴収法第２６条の計算（入門） 25 債権の差押え（入門） 26 不動産等の差押え（入門） 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え（入門） 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え（入門） 29 国税徴収法第24条（譲渡担保）（入門） 30 確認テスト（入門）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	本支店会計Ⅰ①（入門編）
	2	本支店会計Ⅰ②（入門編）
	3	本支店会計Ⅰ③（入門編）
	4	本支店会計Ⅰ④（入門編）
	5	本支店会計Ⅰ⑤（入門編）
	6	本支店会計Ⅰ⑥（入門編）
	7	組織再編会計Ⅰ①（入門編）
	8	組織再編会計Ⅰ②（入門編）
	9	組織再編会計Ⅰ③（入門編）
	10	組織再編会計Ⅰ④（入門編）
	11	建設業会計Ⅰ①（入門編）
	12	建設業会計Ⅰ②（入門編）
	13	連結会計Ⅰ①（入門編）
	14	連結会計Ⅰ②（入門編）
	15	連結会計Ⅰ③（入門編）
	16	連結会計Ⅰ④（入門編）
	17	製造業会計Ⅰ①（入門編）
	18	製造業会計Ⅰ②（入門編）
	19	製造業会計Ⅰ③（入門編）
	20	製造業会計Ⅰ④（入門編）
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）
	25	繰延資産Ⅰ①（入門編）
	26	繰延資産Ⅰ②（入門編）
	27	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）
	28	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）
	29	ストック・オプションⅠ（入門編）
	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金利スワップ①（入門）
	2	金利スワップ②（入門）
	3	金利スワップ③（入門）
	4	金利スワップ④（入門）
	5	金利スワップ⑤（入門）
	6	資産及び負債の貸借対照表能力①（入門）
	7	資産及び負債の貸借対照表能力②（入門）
	8	資産及び負債の貸借対照表能力③（入門）
	9	資産及び負債の貸借対照表能力④（入門）
	10	資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門）
	11	投資のリスクからの解放①（入門）
	12	投資のリスクからの解放②（入門）
	13	投資のリスクからの解放③（入門）
	14	投資のリスクからの解放④（入門）
	15	投資のリスクからの解放⑤（入門）
	16	配分と評価①（入門）
	17	配分と評価②（入門）
	18	配分と評価③（入門）
	19	配分と評価④（入門）
	20	配分と評価⑤（入門）
	21	収益認識①（入門）
	22	収益認識②（入門）
	23	収益認識③（入門）
	24	収益認識④（入門）
	25	収益認識⑤（入門）
	26	組織再①（入門）
	27	組織再②（入門）
	28	組織再③（入門）
	29	組織再④（入門）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	軽減税率①（入門編）
	2	軽減税率②（入門編）
	3	軽減税率③（入門編）
	4	軽減税率④（入門編）
	5	軽減税率⑤（入門編）
	6	軽減税率⑥（入門編）
	7	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	8	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	9	旧税率に関する経過措置③（入門編）
	10	旧税率に関する経過措置④（入門編）
	11	旧税率に関する経過措置⑤（入門編）
	12	旧税率に関する経過措置⑥（入門編）
	13	複数税率の場合の計算①（入門編）
	14	複数税率の場合の計算②（入門編）
	15	複数税率の場合の計算③（入門編）
	16	複数税率の場合の計算④（入門編）
	17	複数税率の場合の計算⑤（入門編）
	18	複数税率の場合の計算⑥（入門編）
	19	国等に対する特例①（入門編）
	20	国等に対する特例②（入門編）
	21	国等に対する特例③（入門編）
	22	国等に対する特例④（入門編）
	23	国等に対する特例⑤（入門編）
	24	国等に対する特例⑥（入門編）
	25	国等に対する特例⑦（入門編）
	26	国等に対する特例⑧（入門編）
	27	特殊項目①(事業承継があった場合の控除税額の調整等)(入門編)
	28	特殊項目②(前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点)(入門編)
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利(基礎)
	2	未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎）
	3	相次相続控除（基礎）
	4	増改築等があった場合（基礎）
	5	結婚･子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	6	確認テスト①(理論)
	7	無道路地（基礎）
	8	定期借地権等（基礎）
	9	定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎）
	10	土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎）
	11	造成費相当額の算定（平坦地）（基礎）
	12	公社債（基礎）
	13	雇用主が保険料を負担している場合（基礎）
	14	保険金の評価（基礎）
	15	確認テスト②(理論)
	16	定期金に関する権利（基礎）
	17	保証期間付定期金に関する権利（基礎）
	18	契約に基づかない定期金に関する権利（基礎）
	19	財産の所在（基礎）
	20	贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎）
	21	相続税の外国税額控除（基礎）
	22	贈与税の外国税額控除（基礎）
	23	確認テスト③(理論)
	24	養子の子の応用的な取扱い（基礎）
	25	農地等の相続税の納税猶予（基礎）
	26	非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎）
	27	非上場株式の相続税の納税猶予（基礎）
	28	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎）
	29	個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎）
	30	確認テスト④(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト(理論)　４回分の平均点100％	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	連結納税制度１（初級）
	2	連結納税制度２（初級）
	3	連結納税制度３（初級）
	4	連結納税制度４（初級）
	5	連結納税制度５（初級）
	6	連結納税制度６（初級）
	7	連結納税制度７（初級）
	8	連結納税制度８（初級）
	9	連結納税制度９（初級）
	10	連結納税制度１０（初級）
	11	連結納税制度１１（初級）
	12	連結納税制度１２（初級）
	13	連結納税制度１３（初級）
	14	連結納税制度１４（初級）
	15	連結納税制度１５（初級）
	16	連結納税制度１６（初級）
	17	連結納税制度１７（初級）
	18	連結納税制度１８（初級）
	19	連結納税制度１９（初級）
	20	連結納税制度２０（初級）
	21	試験研究費の特別控除１（初級）
	22	試験研究費の特別控除２（初級）
	23	試験研究費の特別控除３（初級）
	24	試験研究費の特別控除４（初級）
	25	資産除去債務１（初級）
	26	資産除去債務２（初級）
	27	資産除去債務３（初級）
	28	解散税制１（初級）
	29	解散税制２（初級）
	30	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金預金Ⅱ①（入門編） 2 債権債務Ⅱ①（入門編） 3 商品売買Ⅱ①（入門編） 4 商品売買Ⅱ②（入門編） 5 商品売買Ⅱ③（入門編） 6 固定資産Ⅱ①（入門編） 7 固定資産Ⅱ②（入門編） 8 固定資産Ⅱ③（入門編） 9 退職給付会計Ⅱ①（入門編） 10 退職給付会計Ⅱ②（入門編） 11 退職給付会計Ⅱ③（入門編） 12 債権債務Ⅱ①（入門編） 13 債権債務Ⅱ②（入門編） 14 税金Ⅱ①（入門編） 15 社債Ⅱ①（入門編） 16 社債Ⅱ②（入門編） 17 社債Ⅱ③（入門編） 18 純資産会計Ⅱ①（入門編） 19 純資産会計Ⅱ②（入門編） 20 純資産会計Ⅱ③（入門編） 21 有価証券Ⅱ①（入門編） 22 有価証券Ⅱ②（入門編） 23 有価証券Ⅱ③（入門編） 24 外貨建会計Ⅱ①（入門編） 25 外貨建会計Ⅱ②（入門編） 26 リース会計Ⅱ①（入門編） 27 リース会計Ⅱ②（入門編） 28 試用販売Ⅱ①（入門編） 29 試用販売Ⅱ②（入門編） 30 割賦販売Ⅱ①（入門編） 31 割賦販売Ⅱ②（入門編） 32 割賦販売Ⅱ③（入門編） 33 未着品販売Ⅱ①（入門編） 34 未着品販売Ⅱ②（入門編） 35 委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編） 36 委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編） 37 本支店会計Ⅱ①（入門編） 38 本支店会計Ⅱ②（入門編） 39 組織再編会計Ⅱ①（入門編） 40 組織再編会計Ⅱ②（入門編） 41 連結会計Ⅱ①（入門編） 42 連結会計Ⅱ②（入門編） 43 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編） 44 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編） 45 項目別答練①（入門編） 46 項目別答練②（入門編） 47 項目別答練③（入門編） 48 項目別答練④（入門編） 49 項目別答練⑤（入門編） 50 項目別答練⑥（入門編） 51 基礎答練①（入門編） 52 基礎答練②（入門編） 53 基礎答練③（入門編） 54 基礎答練④（入門編） 55 基礎答練⑤（入門編） 56 基礎答練⑥（入門編） 57 基礎答練⑦（入門編） 58 基礎答練⑧（入門編） 59 基礎答練⑨（入門編） 60 基礎答練⑩（入門編） 61 応用答練①（入門編） 62 応用答練②（入門編） 63 応用答練③（入門編） 64 応用答練④（入門編） 65 応用答練⑤（入門編） 66 応用答練⑥（入門編） 67 応用答練⑦（入門編） 68 応用答練⑧（入門編） 69 応用答練⑨（入門編） 70 応用答練⑩（入門編） 71 過去問演習①（入門編） 72 過去問演習②（入門編） 73 過去問演習③（入門編） 74 過去問演習④（入門編） 75 過去問演習⑤（入門編） 76 過去問演習⑥（入門編） 77 過去問演習⑦（入門編） 78 過去問演習⑧（入門編） 79 過去問演習⑨（入門編） 80 過去問演習⑩（入門編） 81 問題演習実践①（入門編） 82 問題演習実践②（入門編） 83 問題演習実践③（入門編） 84 問題演習実践④（入門編） 85 問題演習実践⑤（入門編） 86 問題演習実践⑥（入門編） 87 問題演習実践⑦（入門編） 88 問題演習実践⑧（入門編） 89 問題演習実践⑨（入門編） 90 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門） 2 財務諸表論総まとめ①（入門） 3 財務諸表論総まとめ②（入門） 4 財務諸表論総まとめ②（入門） 5 財務諸表論総まとめ③（入門） 6 財務諸表論総まとめ③（入門） 7 財務諸表論総まとめ④（入門） 8 財務諸表論総まとめ④（入門） 9 財務諸表論総まとめ⑤（入門） 10 財務諸表論総まとめ⑤（入門） 11 財務諸表論総まとめ⑥（入門） 12 財務諸表論総まとめ⑥（入門） 13 財務諸表論総まとめ⑦（入門） 14 財務諸表論総まとめ⑦（入門） 15 財務諸表論総まとめ⑧（入門） 16 財務諸表論総まとめ⑧（入門） 17 財務諸表論総まとめ⑨（入門） 18 財務諸表論総まとめ⑨（入門） 19 財務諸表論総まとめ⑩（入門） 20 財務諸表論総まとめ⑩（入門） 21 財務諸表論総まとめ⑪（入門） 22 財務諸表論総まとめ⑪（入門） 23 財務諸表論総まとめ⑫（入門） 24 財務諸表論総まとめ⑫（入門） 25 財務諸表論総まとめ⑬（入門） 26 財務諸表論総まとめ⑬（入門） 27 財務諸表論総まとめ⑭（入門） 28 財務諸表論総まとめ⑭（入門） 29 財務諸表論総まとめ⑮（入門） 30 財務諸表論総まとめ⑮（入門） 31 財務諸表論総まとめ⑯（入門） 32 財務諸表論総まとめ⑯（入門） 33 財務諸表論総まとめ⑰（入門） 34 財務諸表論総まとめ⑰（入門） 35 財務諸表論総まとめ⑱（入門） 36 財務諸表論総まとめ⑱（入門） 37 財務諸表論総まとめ⑲（入門） 38 財務諸表論総まとめ⑲（入門） 39 財務諸表論総まとめ⑳（入門） 40 財務諸表論総まとめ⑳（入門） 41 総合問題対策①（入門） 42 総合問題対策①（入門） 43 総合問題対策②（入門） 44 総合問題対策②（入門） 45 総合問題対策③（入門） 46 総合問題対策③（入門） 47 総合問題対策④（入門） 48 総合問題対策④（入門） 49 総合問題対策⑤（入門） 50 総合問題対策⑤（入門） 51 総合問題対策⑥（入門） 52 総合問題対策⑥（入門） 53 総合問題対策⑦（入門） 54 総合問題対策⑦（入門） 55 総合問題対策⑧（入門） 56 総合問題対策⑧（入門） 57 総合問題対策⑨（入門） 58 総合問題対策⑨（入門） 59 総合問題対策⑩（入門） 60 総合問題対策⑩（入門） 61 総合問題対策⑪（入門） 62 総合問題対策⑪（入門） 63 総合問題対策⑫（入門） 64 総合問題対策⑫（入門） 65 総合問題対策⑬（入門） 66 総合問題対策⑬（入門） 67 総合問題対策⑭（入門） 68 総合問題対策⑭（入門） 69 総合問題対策⑮（入門） 70 総合問題対策⑮（入門） 71 総合問題対策⑯（入門） 72 総合問題対策⑯（入門） 73 総合問題対策⑰（入門） 74 総合問題対策⑰（入門） 75 総合問題対策⑱（入門） 76 総合問題対策⑱（入門） 77 総合問題対策⑲（入門） 78 総合問題対策⑲（入門） 79 総合問題対策⑳（入門） 80 総合問題対策⑳（入門） 81 総合問題対策㉑（入門） 82 総合問題対策㉑（入門） 83 総合問題対策㉒（入門） 84 総合問題対策㉒（入門） 85 総合問題対策㉓（入門） 86 総合問題対策㉓（入門） 87 総合問題対策㉔（入門） 88 総合問題対策㉔（入門） 89 模擬試験（計算） 90 模擬試験（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別問題対策①（初級編） 2 個別問題対策②（初級編） 3 個別問題対策③（初級編） 4 個別問題対策④（初級編） 5 個別問題対策⑤（初級編） 6 個別問題対策⑥（初級編） 7 個別問題対策⑦（初級編） 8 個別問題対策⑧（初級編） 9 個別問題対策⑨（初級編） 10 個別問題対策⑩（初級編） 11 個別問題対策⑪（初級編） 12 個別問題対策⑫（初級編） 13 個別問題対策⑬（初級編） 14 個別問題対策⑭（初級編） 15 理論問題対策①（初級編） 16 理論問題対策②（初級編） 17 理論問題対策③（初級編） 18 理論問題対策④（初級編） 19 理論問題対策⑤（初級編） 20 理論問題対策⑥（初級編） 21 理論問題対策⑦（初級編） 22 理論問題対策⑧（初級編） 23 理論問題対策⑨（初級編） 24 理論問題対策⑩（初級編） 25 理論問題対策⑪（初級編） 26 理論問題対策⑫（初級編） 27 理論問題対策⑬（初級編） 28 総合問題対策①（初級編） 29 総合問題対策②（初級編） 30 総合問題対策③（初級編） 31 総合問題対策④（初級編） 32 総合問題対策⑤（初級編） 33 総合問題対策⑥（初級編） 34 総合問題対策⑦（初級編） 35 総合問題対策⑧（初級編） 36 総合問題対策⑨（初級編） 37 総合問題対策⑩（初級編） 38 総合問題対策⑪（初級編） 39 総合問題対策⑫（初級編） 40 総合問題対策⑬（初級編） 41 総合問題対策⑭（初級編） 42 総合問題対策⑮（初級編） 43 総合問題対策⑯（初級編） 44 総合問題対策⑰（初級編） 45 総合問題対策⑱（初級編） 46 総合問題対策⑲（初級編） 47 総合問題対策⑳（初級編） 48 総合問題対策㉑（初級編） 49 総合問題対策㉒（初級編） 50 総合問題対策㉓（初級編） 51 総合問題対策㉔（初級編） 52 総合問題対策㉕（初級編） 53 総合問題対策㉖（初級編） 54 総合問題対策㉗（初級編） 55 総合問題対策㉘（初級編） 56 総合問題対策㉙（初級編） 57 総合問題対策㉚（初級編） 58 総合問題対策㉛（初級編） 59 総合問題対策㉜（初級編） 60 総合問題対策㉝（初級編） 61 総合問題対策㉞（初級編） 62 総合問題対策㉟（初級編） 63 総合問題対策㊱（初級編） 64 総合問題対策㊲（初級編） 65 総合問題対策㊳（初級編） 66 総合問題対策㊴（初級編） 67 総合問題対策㊵（初級編） 68 総合問題対策㊶（初級編） 69 総合問題対策㊷（初級編） 70 総合問題対策㊸（初級編） 71 総合問題演習①（初級編） 72 総合問題演習①（初級編） 73 総合問題演習②（初級編） 74 総合問題演習②（初級編） 75 総合問題演習③（初級編） 76 総合問題演習③（初級編） 77 総合問題演習④（初級編） 78 総合問題演習④（初級編） 79 総合問題演習⑤（初級編） 80 総合問題演習⑤（初級編） 81 総合問題演習⑥（初級編） 82 総合問題演習⑥（初級編） 83 総合問題演習⑦（初級編） 84 総合問題演習⑦（初級編） 85 総合問題演習⑧（初級編） 86 総合問題演習⑧（初級編） 87 総合問題演習⑨（初級編） 88 総合問題演習⑨（初級編） 89 総合問題演習⑩（初級編） 90 総合問題演習⑩（初級編）
成績評価方法（試験実施方法）	総合問題演習の理論　１０回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続税法総まとめ①（基礎編） 2 相続税法総まとめ①（基礎編） 3 相続税法総まとめ②（基礎編） 4 相続税法総まとめ②（基礎編） 5 相続税法総まとめ③（基礎編） 6 相続税法総まとめ③（基礎編） 7 相続税法総まとめ④（基礎編） 8 相続税法総まとめ④（基礎編） 9 相続税法総まとめ⑤（基礎編） 10 相続税法総まとめ⑤（基礎編） 11 相続税法総まとめ⑥（基礎編） 12 相続税法総まとめ⑥（基礎編） 13 相続税法総まとめ⑦（基礎編） 14 相続税法総まとめ⑦（基礎編） 15 相続税法総まとめ⑧（基礎編） 16 相続税法総まとめ⑧（基礎編） 17 相続税法総まとめ⑨（基礎編） 18 相続税法総まとめ⑨（基礎編） 19 相続税法総まとめ⑩（基礎編） 20 相続税法総まとめ⑩（基礎編） 21 相続税法総まとめ⑪（基礎編） 22 相続税法総まとめ⑪（基礎編） 23 相続税法総まとめ⑫（基礎編） 24 相続税法総まとめ⑫（基礎編） 25 相続税法総まとめ⑬（基礎編） 26 相続税法総まとめ⑬（基礎編） 27 相続税法総まとめ⑭（基礎編） 28 相続税法総まとめ⑭（基礎編） 29 相続税法総まとめ⑮（基礎編） 30 相続税法総まとめ⑮（基礎編） 31 相続税法総まとめ⑯（基礎編） 32 相続税法総まとめ⑯（基礎編） 33 相続税法総まとめ⑰（基礎編） 34 相続税法総まとめ⑰（基礎編） 35 相続税法総まとめ⑱（基礎編） 36 相続税法総まとめ⑱（基礎編） 37 相続税法総まとめ⑲（基礎編） 38 相続税法総まとめ⑲（基礎編） 39 相続税法総まとめ⑳（基礎編） 40 相続税法総まとめ⑳（基礎編） 41 総合問題対策①（基礎編） 42 総合問題対策①（基礎編） 43 総合問題対策②（基礎編） 44 総合問題対策②（基礎編） 45 総合問題対策③（基礎編） 46 総合問題対策③（基礎編） 47 総合問題対策④（基礎編） 48 総合問題対策④（基礎編） 49 総合問題対策⑤（基礎編） 50 総合問題対策⑤（基礎編） 51 総合問題対策⑥（基礎編） 52 総合問題対策⑥（基礎編） 53 総合問題対策⑦（基礎編） 54 総合問題対策⑦（基礎編） 55 総合問題対策⑧（基礎編） 56 総合問題対策⑧（基礎編） 57 総合問題対策⑨（基礎編） 58 総合問題対策⑨（基礎編） 59 総合問題対策⑩（基礎編） 60 総合問題対策⑩（基礎編） 61 総合問題対策⑪（基礎編） 62 総合問題対策⑪（基礎編） 63 総合問題対策⑫（基礎編） 64 総合問題対策⑫（基礎編） 65 総合問題対策⑬（基礎編） 66 総合問題対策⑬（基礎編） 67 総合問題対策⑭（基礎編） 68 総合問題対策⑭（基礎編） 69 総合問題対策⑮（基礎編） 70 総合問題対策⑮（基礎編） 71 総合問題対策⑯（基礎編） 72 総合問題対策⑯（基礎編） 73 総合問題対策⑰（基礎編） 74 総合問題対策⑰（基礎編） 75 総合問題対策⑱（基礎編） 76 総合問題対策⑱（基礎編） 77 総合問題対策⑲（基礎編） 78 総合問題対策⑲（基礎編） 79 総合問題対策⑳（基礎編） 80 総合問題対策⑳（基礎編） 81 総合問題対策㉑（基礎編） 82 総合問題対策㉑（基礎編） 83 総合問題対策㉒（基礎編） 84 総合問題対策㉒（基礎編） 85 総合問題対策㉓（基礎編） 86 総合問題対策㉓（基礎編） 87 総合問題対策㉔（基礎編） 88 総合問題対策㉔（基礎編） 89 総合問題対策㉕（基礎編） 90 総合問題対策㉕（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題対策㉕の得点100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合問題対策１（初級） 2 総合問題対策２（初級） 3 総合問題対策３（初級） 4 総合問題対策４（初級） 5 総合問題対策５（初級） 6 総合問題対策６（初級） 7 総合問題対策７（初級） 8 総合問題対策８（初級） 9 総合問題対策９（初級） 10 総合問題対策１０（初級） 11 総合問題対策１１（初級） 12 総合問題対策１２（初級） 13 総合問題対策１３（初級） 14 総合問題対策１４（初級） 15 総合問題対策１５（初級） 16 総合問題対策１６（初級） 17 総合問題対策１７（初級） 18 総合問題対策１８（初級） 19 総合問題対策１９（初級） 20 総合問題対策２０（初級） 21 総合問題対策２１（初級） 22 総合問題対策２２（初級） 23 総合問題対策２３（初級） 24 総合問題対策２４（初級） 25 総合問題対策２５（初級） 26 総合問題対策２６（初級） 27 総合問題対策２７（初級） 28 総合問題対策２８（初級） 29 総合問題対策２９（初級） 30 総合問題対策３０（初級） 31 総合問題対策３１（初級） 32 総合問題対策３２（初級） 33 総合問題対策３３（初級） 34 総合問題対策３４（初級） 35 総合問題対策３５（初級） 36 総合問題対策３６（初級） 37 総合問題対策３７（初級） 38 総合問題対策３８（初級） 39 総合問題対策３９（初級） 40 総合問題対策４０（初級） 41 総合問題対策４１（初級） 42 総合問題対策４２（初級） 43 総合問題対策４３（初級） 44 総合問題対策４４（初級） 45 総合問題対策４５（初級） 46 総合問題対策４６（初級） 47 総合問題対策４７（初級） 48 総合問題対策４８（初級） 49 総合問題対策４９（初級） 50 総合問題対策５０（初級） 51 総合問題対策５１（初級） 52 総合問題対策５２（初級） 53 総合問題対策５３（初級） 54 総合問題対策５４（初級） 55 総合問題対策５５（初級） 56 総合問題対策５６（初級） 57 総合問題対策５７（初級） 58 総合問題対策５８（初級） 59 総合問題対策５９（初級） 60 総合問題対策６０（初級） 61 総合問題対策６１（初級） 62 総合問題対策６２（初級） 63 総合問題対策６３（初級） 64 総合問題対策６４（初級） 65 総合問題対策６５（初級） 66 総合問題対策６６（初級） 67 総合問題対策６７（初級） 68 総合問題対策６８（初級） 69 総合問題対策６９（初級） 70 総合問題対策７０（初級） 71 総合問題演習１（初級：計算） 72 総合問題演習１（初級：理論） 73 総合問題演習２（初級：計算） 74 総合問題演習２（初級：理論） 75 総合問題演習３（初級：計算） 76 総合問題演習３（初級：理論） 77 総合問題演習４（初級：計算） 78 総合問題演習４（初級：理論） 79 総合問題演習５（初級：計算） 80 総合問題演習５（初級：理論） 81 総合問題演習６（初級：計算） 82 総合問題演習６（初級：理論） 83 総合問題演習７（初級：計算） 84 総合問題演習７（初級：理論） 85 総合問題演習８（初級：計算） 86 総合問題演習８（初級：理論） 87 総合問題演習９（初級：計算） 88 総合問題演習９（初級：理論） 89 総合問題演習１０（初級：計算） 90 総合問題演習１０（初級：理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習(初級:理論)で実施したテストのうち5回分の平均点100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）
	4	現在価値計算Ⅰ①（入門編）
	5	現在価値計算Ⅰ②（入門編）
	6	保険金Ⅰ①（入門編）
	7	保険金Ⅰ②（入門編）
	8	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）
	9	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）
	10	減損会計Ⅰ①（入門編）
	11	減損会計Ⅰ②（入門編）
	12	資産除去債務Ⅰ①（入門編）
	13	資産除去債務Ⅰ②（入門編）
	14	外貨建会計Ⅰ①（入門編）
	15	外貨建会計Ⅰ②（入門編）
	16	外貨建会計Ⅰ③（入門編）
	17	リース会計Ⅰ①（入門編）
	18	リース会計Ⅰ②（入門編）
	19	試用販売Ⅰ①（入門編）
	20	試用販売Ⅰ②（入門編）
	21	試用販売Ⅰ③（入門編）
	22	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	23	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	24	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	25	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	26	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	27	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	28	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	29	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	30	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎） 3 分配可能額①（入門・基礎） 4 分配可能額②（入門・基礎） 5 ストック・オプション①（入門・基礎） 6 ストック・オプション②（入門・基礎） 7 セール＆リースバック①（入門・基礎） 8 セール＆リースバック②（入門・基礎） 9 財務諸表等規則①（入門・基礎） 10 財務諸表等規則②（入門・基礎） 11 負債①（入門・基礎） 12 負債②（入門・基礎） 13 負債③（入門・基礎） 14 純資産会計①（入門・基礎） 15 純資産会計②（入門・基礎） 16 純資産会計③（入門・基礎） 17 企業結合会計①（入門・基礎） 18 企業結合会計②（入門・基礎） 19 企業結合会計③（入門・基礎） 20 事業分離会計①（入門・基礎） 21 事業分離会計②（入門・基礎） 22 事業分離会計③（入門・基礎） 23 四半期財務諸表①（入門・基礎） 24 四半期財務諸表②（入門・基礎） 25 ヘッジ会計①（入門・基礎） 26 ヘッジ会計②（入門・基礎） 27 包括利益①（入門・基礎） 28 包括利益②（入門・基礎） 29 包括利益③（入門・基礎） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計Ⅰ①（入門編） 2 本支店会計Ⅰ②（入門編） 3 本支店会計Ⅰ③（入門編） 4 本支店会計Ⅰ④（入門編） 5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編） 6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編） 7 組織再編会計Ⅰ①（入門編） 8 組織再編会計Ⅰ②（入門編） 9 組織再編会計Ⅰ③（入門編） 10 組織再編会計Ⅰ④（入門編） 11 建設業会計Ⅰ①（入門編） 12 建設業会計Ⅰ②（入門編） 13 連結会計Ⅰ①（入門編） 14 連結会計Ⅰ②（入門編） 15 連結会計Ⅰ③（入門編） 16 連結会計Ⅰ④（入門編） 17 製造業会計Ⅰ①（入門編） 18 製造業会計Ⅰ②（入門編） 19 製造業会計Ⅰ③（入門編） 20 製造業会計Ⅰ④（入門編） 21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編） 22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編） 23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編） 24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編） 25 繰延資産Ⅰ①（入門編） 26 繰延資産Ⅰ②（入門編） 27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編） 28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編） 29 ストック・オプションⅠ①（入門編） 30 ストック・オプションⅠ②（入門編） 31 現金預金Ⅱ①（入門編） 32 債権債務Ⅱ①（入門編） 33 商品売買Ⅱ①（入門編） 34 商品売買Ⅱ②（入門編） 35 商品売買Ⅱ③（入門編） 36 固定資産Ⅱ①（入門編） 37 固定資産Ⅱ②（入門編） 38 退職給付会計Ⅱ①（入門編） 39 退職給付会計Ⅱ②（入門編） 40 債権債務Ⅱ①（入門編） 41 債権債務Ⅱ②（入門編） 42 税金Ⅱ①（入門編） 43 社債Ⅱ①（入門編） 44 社債Ⅱ②（入門編） 45 純資産会計Ⅱ①（入門編） 46 純資産会計Ⅱ②（入門編） 47 有価証券Ⅱ①（入門編） 48 有価証券Ⅱ②（入門編） 49 外貨建会計Ⅱ①（入門編） 50 外貨建会計Ⅱ②（入門編） 51 リース会計Ⅱ①（入門編） 52 リース会計Ⅱ②（入門編） 53 試用販売Ⅱ①（入門編） 54 試用販売Ⅱ②（入門編） 55 割賦販売Ⅱ①（入門編） 56 割賦販売Ⅱ②（入門編） 57 未着品販売Ⅱ①（入門編） 58 未着品販売Ⅱ②（入門編） 59 委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編） 60 委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編） 61 本支店会計Ⅱ①（入門編） 62 本支店会計Ⅱ②（入門編） 63 組織再編会計Ⅱ①（入門編） 64 組織再編会計Ⅱ②（入門編） 65 連結会計Ⅱ①（入門編） 66 連結会計Ⅱ②（入門編） 67 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編） 68 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編） 69 項目別答練①（入門編） 70 項目別答練②（入門編） 71 項目別答練③（入門編） 72 項目別答練④（入門編） 73 項目別答練⑤（入門編） 74 項目別答練⑥（入門編） 75 基礎答練①（入門編） 76 基礎答練②（入門編） 77 基礎答練③（入門編） 78 応用答練①（入門編） 79 応用答練②（入門編） 80 応用答練③（入門編） 81 過去問演習①（入門編） 82 過去問演習②（入門編） 83 過去問演習③（入門編） 84 過去問演習④（入門編） 85 過去問演習⑤（入門編） 86 問題演習実践①（入門編） 87 問題演習実践②（入門編） 88 問題演習実践③（入門編） 89 問題演習実践④（入門編） 90 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%。 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 2 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 3 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 4 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 5 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 6 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 7 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 8 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 9 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 10 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 11 財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎） 12 財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎） 13 財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎） 14 財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎） 15 財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎） 16 財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎） 17 財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎） 18 財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎） 19 財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎） 20 財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎） 21 財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎） 22 財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎） 23 財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎） 24 財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎） 25 財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎） 26 財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎） 27 財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎） 28 財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎） 29 財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎） 30 財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎） 31 財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎） 32 財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎） 33 財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎） 34 財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎） 35 財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎） 36 財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎） 37 財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎） 38 財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎） 39 財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎） 40 財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎） 41 総合問題対策①（入門・基礎） 42 総合問題対策①（入門・基礎） 43 総合問題対策②（入門・基礎） 44 総合問題対策②（入門・基礎） 45 総合問題対策③（入門・基礎） 46 総合問題対策③（入門・基礎） 47 総合問題対策④（入門・基礎） 48 総合問題対策④（入門・基礎） 49 総合問題対策⑤（入門・基礎） 50 総合問題対策⑤（入門・基礎） 51 総合問題対策⑥（入門・基礎） 52 総合問題対策⑥（入門・基礎） 53 総合問題対策⑦（入門・基礎） 54 総合問題対策⑦（入門・基礎） 55 総合問題対策⑧（入門・基礎） 56 総合問題対策⑧（入門・基礎） 57 総合問題対策⑨（入門・基礎） 58 総合問題対策⑨（入門・基礎） 59 総合問題対策⑩（入門・基礎） 60 総合問題対策⑩（入門・基礎） 61 総合問題対策⑪（入門・基礎） 62 総合問題対策⑪（入門・基礎） 63 総合問題対策⑫（入門・基礎） 64 総合問題対策⑫（入門・基礎） 65 総合問題対策⑬（入門・基礎） 66 総合問題対策⑬（入門・基礎） 67 総合問題対策⑭（入門・基礎） 68 総合問題対策⑭（入門・基礎） 69 総合問題対策⑮（入門・基礎） 70 総合問題対策⑮（入門・基礎） 71 総合問題対策⑯（入門・基礎） 72 総合問題対策⑯（入門・基礎） 73 総合問題対策⑰（入門・基礎） 74 総合問題対策⑰（入門・基礎） 75 総合問題対策⑱（入門・基礎） 76 総合問題対策⑱（入門・基礎） 77 総合問題対策⑲（入門・基礎） 78 総合問題対策⑲（入門・基礎） 79 総合問題対策⑳（入門・基礎） 80 総合問題対策⑳（入門・基礎） 81 総合問題対策㉑（入門・基礎） 82 総合問題対策㉑（入門・基礎） 83 総合問題対策㉒（入門・基礎） 84 総合問題対策㉒（入門・基礎） 85 総合問題対策㉓（入門・基礎） 86 総合問題対策㉓（入門・基礎） 87 総合問題対策㉔（入門・基礎） 88 総合問題対策㉔（入門・基礎） 89 模擬試験（計算） 90 模擬試験（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験（理論）100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（基礎編）
	2	税効果会計Ⅰ②（基礎編）
	3	税効果会計Ⅰ③（基礎編）
	4	税効果会計Ⅰ④（基礎編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（基礎編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（基礎編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（基礎編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（基礎編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（基礎編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（基礎編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（基礎編）
	12	保険金Ⅰ①（基礎編）
	13	保険金Ⅰ②（基礎編）
	14	保険金Ⅰ③（基礎編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（基礎編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（基礎編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（基礎編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（基礎編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（基礎編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（基礎編）
	21	減損会計Ⅰ①（基礎編）
	22	減損会計Ⅰ②（基礎編）
	23	減損会計Ⅰ③（基礎編）
	24	減損会計Ⅰ④（基礎編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（基礎編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（基礎編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（基礎編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（基礎編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（基礎編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（基礎編）
	31	外貨建会計Ⅰ⑤（基礎編）
	32	外貨建会計Ⅰ⑥（基礎編）
	33	リース会計Ⅰ①（基礎編）
	34	リース会計Ⅰ②（基礎編）
	35	リース会計Ⅰ③（基礎編）
	36	リース会計Ⅰ④（基礎編）
	37	リース会計Ⅰ⑤（基礎編）
	38	リース会計Ⅰ⑥（基礎編）
	39	試用販売Ⅰ①（基礎編）
	40	試用販売Ⅰ②（基礎編）
	41	試用販売Ⅰ③（基礎編）
	42	試用販売Ⅰ④（基礎編）
	43	試用販売Ⅰ⑤（基礎編）
	44	試用販売Ⅰ⑥（基礎編）
	45	割賦販売Ⅰ①（基礎編）
	46	割賦販売Ⅰ②（基礎編）
	47	割賦販売Ⅰ③（基礎編）
	48	割賦販売Ⅰ④（基礎編）
	49	割賦販売Ⅰ⑤（基礎編）
	50	割賦販売Ⅰ⑥（基礎編）
	51	未着品販売Ⅰ①（基礎編）
	52	未着品販売Ⅰ②（基礎編）
	53	未着品販売Ⅰ③（基礎編）
	54	未着品販売Ⅰ④（基礎編）
	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（基礎編）
	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（基礎編）
	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（基礎編）
	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（基礎編）
	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（基礎編）
	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（応用編）
	2	税効果会計Ⅰ②（応用編）
	3	税効果会計Ⅰ③（応用編）
	4	税効果会計Ⅰ④（応用編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（応用編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（応用編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（応用編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（応用編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（応用編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（応用編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（応用編）
	12	保険金Ⅰ①（応用編）
	13	保険金Ⅰ②（応用編）
	14	保険金Ⅰ③（応用編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（応用編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（応用編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（応用編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（応用編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（応用編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（応用編）
	21	減損会計Ⅰ①（応用編）
	22	減損会計Ⅰ②（応用編）
	23	減損会計Ⅰ③（応用編）
	24	減損会計Ⅰ④（応用編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（応用編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（応用編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（応用編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（応用編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（応用編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（応用編）
	31	外貨建会計Ⅰ⑤（応用編）
	32	外貨建会計Ⅰ⑥（応用編）
	33	リース会計Ⅰ①（応用編）
	34	リース会計Ⅰ②（応用編）
	35	リース会計Ⅰ③（応用編）
	36	リース会計Ⅰ④（応用編）
	37	リース会計Ⅰ⑤（応用編）
	38	リース会計Ⅰ⑥（応用編）
	39	試用販売Ⅰ①（応用編）
	40	試用販売Ⅰ②（応用編）
	41	試用販売Ⅰ③（応用編）
	42	試用販売Ⅰ④（応用編）
	43	試用販売Ⅰ⑤（応用編）
	44	試用販売Ⅰ⑥（応用編）
	45	割賦販売Ⅰ①（応用編）
	46	割賦販売Ⅰ②（応用編）
	47	割賦販売Ⅰ③（応用編）
	48	割賦販売Ⅰ④（応用編）
	49	割賦販売Ⅰ⑤（応用編）
	50	割賦販売Ⅰ⑥（応用編）
	51	未着品販売Ⅰ①（応用編）
	52	未着品販売Ⅰ②（応用編）
	53	未着品販売Ⅰ③（応用編）
	54	未着品販売Ⅰ④（応用編）
	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（応用編）
	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（応用編）
	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（応用編）
	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（応用編）
	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（応用編）
	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	項目別答練①（基礎編）
	2	項目別答練②（基礎編）
	3	項目別答練③（基礎編）
	4	項目別答練④（基礎編）
	5	項目別答練⑤（基礎編）
	6	項目別答練⑥（基礎編）
	7	項目別答練⑦（基礎編）
	8	項目別答練⑧（基礎編）
	9	基礎答練①（基礎編）
	10	基礎答練②（基礎編）
	11	基礎答練③（基礎編）
	12	基礎答練④（基礎編）
	13	基礎答練⑤（基礎編）
	14	基礎答練⑥（基礎編）
	15	基礎答練⑦（基礎編）
	16	基礎答練⑧（基礎編）
	17	基礎答練⑨（基礎編）
	18	基礎答練⑩（基礎編）
	19	基礎答練⑪（基礎編）
	20	基礎答練⑫（基礎編）
	21	基礎答練⑬（基礎編）
	22	応用答練①（基礎編）
	23	応用答練②（基礎編）
	24	応用答練③（基礎編）
	25	応用答練④（基礎編）
	26	応用答練⑤（基礎編）
	27	応用答練⑥（基礎編）
	28	応用答練⑦（基礎編）
	29	応用答練⑧（基礎編）
	30	応用答練⑨（基礎編）
	31	応用答練⑩（基礎編）
	32	応用答練⑪（基礎編）
	33	応用答練⑫（基礎編）
	34	応用答練⑬（基礎編）
	35	過去問演習①（基礎編）
	36	過去問演習②（基礎編）
	37	過去問演習③（基礎編）
	38	過去問演習①（基礎編）
	39	過去問演習⑤（基礎編）
	40	過去問演習⑥（基礎編）
	41	過去問演習⑦（基礎編）
	42	過去問演習⑧（基礎編）
	43	過去問演習⑨（基礎編）
	44	過去問演習⑩（基礎編）
	45	過去問演習⑪（基礎編）
	46	過去問演習⑫（基礎編）
	47	過去問演習⑬（基礎編）
	48	問題演習実践①（基礎編）
	49	問題演習実践②（基礎編）
	50	問題演習実践③（基礎編）
	51	問題演習実践④（基礎編）
	52	問題演習実践⑤（基礎編）
	53	問題演習実践⑥（基礎編）
	54	問題演習実践⑦（基礎編）
	55	問題演習実践⑧（基礎編）
	56	問題演習実践⑨（基礎編）
	57	問題演習実践⑩（基礎編）
	58	問題演習実践⑪（基礎編）
	59	問題演習実践⑫（基礎編）
	60	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	項目別答練①（応用編）
	2	項目別答練②（応用編）
	3	項目別答練③（応用編）
	4	項目別答練④（応用編）
	5	項目別答練⑤（応用編）
	6	項目別答練⑥（応用編）
	7	項目別答練⑦（応用編）
	8	項目別答練⑧（応用編）
	9	基礎答練①（応用編）
	10	基礎答練②（応用編）
	11	基礎答練③（応用編）
	12	基礎答練④（応用編）
	13	基礎答練⑤（応用編）
	14	基礎答練⑥（応用編）
	15	基礎答練⑦（応用編）
	16	基礎答練⑧（応用編）
	17	基礎答練⑨（応用編）
	18	基礎答練⑩（応用編）
	19	基礎答練⑪（応用編）
	20	基礎答練⑫（応用編）
	21	基礎答練⑬（応用編）
	22	応用答練①（応用編）
	23	応用答練②（応用編）
	24	応用答練③（応用編）
	25	応用答練④（応用編）
	26	応用答練⑤（応用編）
	27	応用答練⑥（応用編）
	28	応用答練⑦（応用編）
	29	応用答練⑧（応用編）
	30	応用答練⑨（応用編）
	31	応用答練⑩（応用編）
	32	応用答練⑪（応用編）
	33	応用答練⑫（応用編）
	34	応用答練⑬（応用編）
	35	過去問演習①（応用編）
	36	過去問演習②（応用編）
	37	過去問演習③（応用編）
	38	過去問演習④（応用編）
	39	過去問演習⑤（応用編）
	40	過去問演習⑥（応用編）
	41	過去問演習⑦（応用編）
	42	過去問演習⑧（応用編）
	43	過去問演習⑨（応用編）
	44	過去問演習⑩（応用編）
	45	過去問演習⑪（応用編）
	46	過去問演習⑫（応用編）
	47	過去問演習⑬（応用編）
	48	問題演習実践①（応用編）
	49	問題演習実践②（応用編）
	50	問題演習実践③（応用編）
	51	問題演習実践④（応用編）
	52	問題演習実践⑤（応用編）
	53	問題演習実践⑥（応用編）
	54	問題演習実践⑦（応用編）
	55	問題演習実践⑧（応用編）
	56	問題演習実践⑨（応用編）
	57	問題演習実践⑩（応用編）
	58	問題演習実践⑩（応用編）
	59	問題演習実践⑪（応用編）
	60	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合問題対策①（初級編） 2 総合問題対策②（初級編） 3 総合問題対策③（初級編） 4 総合問題対策④（初級編） 5 総合問題対策⑤（初級編） 6 総合問題対策⑥（初級編） 7 総合問題対策⑦（初級編） 8 総合問題対策⑧（初級編） 9 総合問題対策⑨（初級編） 10 総合問題対策⑩（初級編） 11 総合問題対策⑪（初級編） 12 総合問題対策⑫（初級編） 13 総合問題対策⑬（初級編） 14 総合問題対策⑭（初級編） 15 総合問題対策⑮（初級編） 16 総合問題対策⑯（初級編） 17 総合問題対策⑰（初級編） 18 総合問題対策⑱（初級編） 19 総合問題対策⑲（初級編） 20 総合問題対策⑳（初級編） 21 総合問題対策㉑（初級編） 22 総合問題対策㉒（初級編） 23 総合問題対策㉓（初級編） 24 総合問題対策㉔（初級編） 25 総合問題対策㉕（初級編） 26 総合問題対策㉖（初級編） 27 総合問題対策㉗（初級編） 28 総合問題対策㉘（初級編） 29 総合問題対策㉙（初級編） 30 総合問題対策㉚（初級編） 31 総合問題対策㉛（初級編） 32 総合問題対策㉜（初級編） 33 総合問題対策㉝（初級編） 34 総合問題対策㉞（初級編） 35 総合問題対策㉟（初級編） 36 総合問題演習①（初級編） 37 総合問題演習①（初級編） 38 総合問題演習②（初級編） 39 総合問題演習②（初級編） 40 総合問題演習③（初級編） 41 総合問題演習③（初級編） 42 総合問題演習④（初級編） 43 総合問題演習④（初級編） 44 総合問題演習⑤（初級編） 45 総合問題演習⑤（初級編）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習の理論　５回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法総合Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	実務判例を考察し、最新実務の解釈を取り入れ、国税通則法の知識を学ぶ。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計事務所における実務経験に基づき国税等に関する考え方や具体的な計算処理の方法等に基づき演習を行う。
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（初級） 2 交付要求及び督促時効（初級） 3 参加差押え（初級） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（初級） 5 換価配当（初級） 6 担保のための仮登記（初級） 7 物上代位権との調整（初級） 8 納期限未到来の納税の猶予（初級） 9 災害等による一般の納税の猶予（初級） 10 換価の猶予（初級） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（初級） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（初級） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（初級） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（初級） 15 国税の担保（初級） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（初級） 17 保全措置（初級） 18 滞納処分の停止（初級） 19 納付委託・弁済委託（初級） 20 第二次納税義務（通則）（初級） 21 第二次納税義務（人的限度）（初級） 22 第二次納税義務（物的限度）（初級） 23 不服申立（初級） 24 滞納処分費（初級） 25 納付義務の承継（初級） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（初級） 27 増額登記（初級） 28 質権の証明と優先権行使の否認（初級） 29 国税徴収法第２６条準用（初級） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（初級） 31 総合理論対策１（初級） 32 総合理論対策２（初級） 33 総合理論対策３（初級） 34 総合理論対策４（初級） 35 総合理論対策５（初級） 36 総合理論対策６（初級） 37 総合理論対策７（初級） 38 総合理論対策８（初級） 39 総合理論対策９（初級） 40 総合問題演習１（初級） 41 総合問題演習１（初級） 42 総合問題演習２（初級） 43 総合問題演習２（初級） 44 総合問題演習３（初級） 45 総合問題演習３（初級）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（中級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（中級）
	3	強制換価手続（中級）
	4	担保の種類（中級）
	5	滞納処分の概要（中級）
	6	国税に優先する権利（中級）
	7	国税相互間の優先関係（中級）
	8	財産の調査（中級）
	9	最優先される被担保債権（中級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（中級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（中級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（中級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（中級）
	14	譲受前にある担保権（中級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（中級）
	16	差押の制限等、解除（中級）
	17	差押の共通手続（中級）
	18	第三者からの差押換え（中級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（中級）
	20	相続人からの差押換え（中級）
	21	動産又は有価証券の差押え（中級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（中級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（中級）
	24	国税徴収法第２６条の計算（中級）
	25	債権の差押え（中級）
	26	不動産等の差押え（中級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（中級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（中級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（中級）
	30	確認テスト（中級）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ。
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（応用） 2 交付要求及び督促時効（応用） 3 参加差押え（応用） 4 国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（応用） 5 換価配当（応用） 6 担保のための仮登記（応用） 7 物上代位権との調整（応用） 8 納期限未到来の納税の猶予（応用） 9 災害等による一般の納税の猶予（応用） 10 換価の猶予（応用） 11 確定手続が遅延した場合の納税の猶予（応用） 12 納税の猶予の効果、取消、短縮（応用） 13 納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（応用） 14 保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（応用） 15 国税の担保（応用） 16 差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（応用） 17 保全措置（応用） 18 滞納処分の停止（応用） 19 納付委託・弁済委託（応用） 20 第二次納税義務（通則）（応用） 21 第二次納税義務（人的限度）（応用） 22 第二次納税義務（物的限度）（応用） 23 不服申立（応用） 24 滞納処分費（応用） 25 納付義務の承継（応用） 26 質権及び抵当権の優先額の限度（応用） 27 増額登記（応用） 28 質権の証明と優先権行使の否認（応用） 29 国税徴収法第２６条準用（応用） 30 差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（応用） 31 総合理論対策１（応用） 32 総合理論対策２（応用） 33 総合理論対策３（応用） 34 総合理論対策４（応用） 35 総合理論対策５（応用） 36 総合理論対策６（応用） 37 総合理論対策７（応用） 38 総合理論対策８（応用） 39 総合理論対策９（応用） 40 総合問題演習１（応用） 41 総合問題演習１（応用） 42 総合問題演習２（応用） 43 総合問題演習２（応用） 44 総合問題演習３（応用） 45 総合問題演習３（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合問題演習で実施したテスト３回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ①（基礎編） 2 簿記の概要Ⅰ②（基礎編） 3 簿記の概要Ⅰ③（基礎編） 4 簿記の概要Ⅰ④（基礎編） 5 現金預金Ⅰ①（基礎編） 6 現金預金Ⅰ②（基礎編） 7 現金預金Ⅰ③（基礎編） 8 債権債務Ⅰ①（基礎編） 9 債権債務Ⅰ②（基礎編） 10 商品売買Ⅰ①（基礎編） 11 商品売買Ⅰ②（基礎編） 12 商品売買Ⅰ③（基礎編） 13 給料等Ⅰ①（基礎編） 14 給料等Ⅰ②（基礎編） 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会計学の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎） 2 個別注記表（基礎） 3 現金及び預金（基礎） 4 債権債務（基礎） 5 関係会社概念（基礎） 6 売上原価の算定（基礎） 7 貸倒れ（基礎） 8 給料等（基礎） 9 その他の引当金（基礎） 10 退職給付会計（基礎） 11 有形固定資産（基礎） 12 無形固定資産（基礎） 13 株主資本（基礎） 14 財務諸表論の基礎概念（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（初級編） 3 課税の対象②（初級編） 4 課税の対象③（初級編） 5 課税の対象④（初級編） 6 非課税①（初級編） 7 非課税②（初級編） 8 非課税③（初級編） 9 非課税④（初級編） 10 輸出免税等①（初級編） 11 輸出免税等②（初級編） 12 輸出免税等③（初級編） 13 輸出免税等④（初級編） 14 資産の譲渡等の時期（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 相続税法の概要（基礎） 3 相続税法と民法（基礎） 4 相続人、代襲相続（基礎） 5 養子の子の取扱い（基礎） 6 相続の承認と放棄（基礎） 7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎） 8 遺言による財産の取得（基礎） 9 相続税の納税義務者（基礎） 10 生命保険金等（基礎） 11 相続税の非課税財産（基礎） 12 相続税額の計算方法（基礎） 13 生命保険金等の非課税金額（基礎） 14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（中級） 2 納税義務者（中級） 3 課税所得の範囲（中級） 4 交際費等の損金不算入Ⅰ（中級） 5 減価償却Ⅰ（中級） 6 減価償却Ⅱ（中級） 7 減価償却Ⅲ（中級） 8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級） 9 寄附金の損金不算入Ⅰ（中級） 10 租税公課等（中級） 11 納税充当金Ⅰ（中級） 12 納税充当金Ⅱ（中級） 13 別表四の作成（中級） 14 事業年度（中級） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（初級編） 3 課税の対象②（初級編） 4 非課税①（初級編） 5 非課税②（初級編） 6 輸出免税等①（初級編） 7 輸出免税等②（初級編） 8 資産の譲渡等の時期（初級編） 9 控除対象仕入税額①（初級編） 10 控除対象仕入税額②（初級編） 11 売上げに係る対価の返還等（初級編） 12 貸倒れが生じた場合（初級編） 13 課税仕入れの範囲①（初級編） 14 課税仕入れの範囲②（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（基礎編）
	2	税効果会計Ⅰ②（基礎編）
	3	税効果会計Ⅰ③（基礎編）
	4	税効果会計Ⅰ④（基礎編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（基礎編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（基礎編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（基礎編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（基礎編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（基礎編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（基礎編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（基礎編）
	12	保険金Ⅰ①（基礎編）
	13	保険金Ⅰ②（基礎編）
	14	保険金Ⅰ③（基礎編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（基礎編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（基礎編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（基礎編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（基礎編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（基礎編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（基礎編）
	21	減損会計Ⅰ①（基礎編）
	22	減損会計Ⅰ②（基礎編）
	23	減損会計Ⅰ③（基礎編）
	24	減損会計Ⅰ④（基礎編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（基礎編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（基礎編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（基礎編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（基礎編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（基礎編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（基礎編）
	31	外貨建会計Ⅰ⑤（基礎編）
	32	外貨建会計Ⅰ⑥（基礎編）
	33	リース会計Ⅰ①（基礎編）
	34	リース会計Ⅰ②（基礎編）
	35	リース会計Ⅰ③（基礎編）
	36	リース会計Ⅰ④（基礎編）
	37	リース会計Ⅰ⑤（基礎編）
	38	リース会計Ⅰ⑥（基礎編）
	39	試用販売Ⅰ①（基礎編）
	40	試用販売Ⅰ②（基礎編）
	41	試用販売Ⅰ③（基礎編）
	42	試用販売Ⅰ④（基礎編）
	43	試用販売Ⅰ⑤（基礎編）
	44	試用販売Ⅰ⑥（基礎編）
	45	割賦販売Ⅰ①（基礎編）
	46	割賦販売Ⅰ②（基礎編）
	47	割賦販売Ⅰ③（基礎編）
	48	割賦販売Ⅰ④（基礎編）
	49	割賦販売Ⅰ⑤（基礎編）
	50	割賦販売Ⅰ⑥（基礎編）
	51	未着品販売Ⅰ①（基礎編）
	52	未着品販売Ⅰ②（基礎編）
	53	未着品販売Ⅰ③（基礎編）
	54	未着品販売Ⅰ④（基礎編）
	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（基礎編）
	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（基礎編）
	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（基礎編）
	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（基礎編）
	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（基礎編）
	60	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 売買目的有価証券（基礎） 2 満期保有目的の債券（基礎） 3 子会社株式・関連会社株式（基礎） 4 その他有価証券（基礎） 5 ソフトウェア（基礎） 6 法人税等・追徴還付（基礎） 7 現在価値計算（基礎） 8 社債（基礎） 9 利益剰余金（基礎） 10 自己株式（基礎） 11 配当（基礎） 12 外形基準、租税公課（基礎） 13 源泉所得税、社会保険料（基礎） 14 税効果会計（基礎） 15 税効果注記（基礎） 16 源泉所得税、社会保険料（基礎） 17 株主資本等変動計算書（基礎） 18 減損会計（基礎） 19 配当を受けた株主の処理（基礎） 20 圧縮記帳（基礎） 21 外貨建取引（基礎） 22 退職給付会計簡便法（基礎） 23 繰延資産（基礎） 24 為替予約（基礎） 25 仕入・売上げの計上基準（基礎） 26 消費税等（基礎） 27 他勘定振替（基礎） 28 外貨建有価証券（基礎） 29 リース会計（基礎） 30 証券投資信託（基礎） 31 ゴルフ会員権（基礎） 32 売価還元法（基礎） 33 製造業会計（基礎） 34 研究開発費（基礎） 35 新株予約権（基礎） 36 キャッシュ・フロー計算書（基礎） 37 損益計算書総論（基礎） 38 貸借対照表総論（基礎） 39 資産総論（基礎） 40 棚卸資産に関する会計基準（基礎） 41 連続意見書（基礎） 42 引当金（基礎） 43 会計観（基礎） 44 金融商品（基礎） 45 純資産会計①（基礎） 46 純資産会計②（基礎） 47 純資産会計③（基礎） 48 純資産会計④（基礎） 49 純資産会計⑤（基礎） 50 企業結合会計①（基礎） 51 企業結合会計②（基礎） 52 企業結合会計③（基礎） 53 企業結合会計④（基礎） 54 企業結合会計⑤（基礎） 55 事業分離会計①（基礎） 56 事業分離会計②（基礎） 57 事業分離会計③（基礎） 58 事業分離会計④（基礎） 59 事業分離会計⑤（基礎） 60 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%(理論)　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間（４単位）	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	控除対象仕入税額①（初級編）
	2	控除対象仕入税額②（初級編）
	3	控除対象仕入税額③（初級編）
	4	控除対象仕入税額④（初級編）
	5	控除対象仕入税額⑤（初級編）
	6	控除対象仕入税額⑥（初級編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（初級編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（初級編）
	9	貸倒れが生じた場合①（初級編）
	10	貸倒れが生じた場合②（初級編）
	11	課税仕入れの範囲①（初級編）
	12	課税仕入れの範囲②（初級編）
	13	課税仕入れの範囲③（初級編）
	14	課税仕入れの範囲④（初級編）
	15	課税仕入れ等の時期①（初級編）
	16	課税仕入れ等の時期②（初級編）
	17	課税仕入れ等の時期③（初級編）
	18	課税仕入れ等の時期④（初級編）
	19	課税売上割合①（初級編）
	20	課税売上割合②（初級編）
	21	課税売上割合③（初級編）
	22	課税売上割合④（初級編）
	23	課税売上割合⑤（初級編）
	24	課税売上割合⑥（初級編）
	25	課税期間における課税売上高①（初級編）
	26	課税期間における課税売上高②（初級編）
	27	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）
	28	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）
	29	仕入れに係る対価の返還等①（初級編）
	30	仕入れに係る対価の返還等②（初級編）
	31	納税義務の免除①（初級編）
	32	納税義務の免除②（初級編）
	33	納税義務の免除③（初級編）
	34	納税義務の免除④（初級編）
	35	納税義務の免除⑤（初級編）
	36	国境を越えた役務の提供①（初級編）
	37	国境を越えた役務の提供②（初級編）
	38	国境を越えた役務の提供③（初級編）
	39	国境を越えた役務の提供④（初級編）
	40	国境を越えた役務の提供⑤（初級編）
	41	中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）
	42	中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）
	43	課税仕入れ等の分類①（初級編）
	44	課税仕入れ等の分類②（初級編）
	45	課税仕入れ等の分類③（初級編）
	46	課税仕入れ等の分類④（初級編）
	47	課税仕入れ等の分類⑤（初級編）
	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(初級編)
	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(初級編)
	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(初級編)
	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）
	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）
	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）
	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）
	55	納税義務の免除の特例①（初級編）
	56	納税義務の免除の特例②（初級編）
	57	納税義務の免除の特例③（初級編）
	58	納税義務の免除の特例④（初級編）
	59	納税義務の免除の特例⑤（初級編）
	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎） 2 弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎） 3 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎） 4 相続時精算課税適用財産（基礎）、生前贈与加算相続税の総額（基礎） 5 算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎） 6 贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎） 7 未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎） 8 確認テスト①(理論) 9 特定納税義務者（基礎） 10 特定納税義務者の債務控除（基礎）、特定納税義務者の障害者控除（基礎） 11 贈与税額控除（精算）（基礎） 12 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎） 13 自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎） 14 特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎） 15 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎） 16 法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎） 17 自用地（路線に２以上の路線価が付されている宅地）（基礎） 18 地区区分の異なる宅地（基礎） 19 側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎） 20 普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）、貸家建付地（基礎） 21 貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎） 22 一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎） 23 書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎） 24 上場株式（基礎）、構築物（基礎） 25 貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎） 26 間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎） 27 確認テスト②(理論) 28 使用貸借により借り受けた宅地等（基礎） 29 使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎） 30 使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎） 31 小規模宅地等の減額①（基礎） 32 小規模宅地等の減額②（基礎） 33 小規模宅地等の減額③（基礎） 34 小規模宅地等の減額④（基礎） 35 小規模宅地等の減額⑤（基礎） 36 小規模宅地等の減額⑥（基礎） 37 確認テスト③(理論) 38 取引相場のない株式①（基礎） 39 取引相場のない株式②（基礎） 40 取引相場のない株式③（基礎） 41 取引相場のない株式④（基礎） 42 取引相場のない株式⑤（基礎） 43 取引相場のない株式⑥（基礎） 44 取引相場のない株式⑦（基礎） 45 取引相場のない株式⑧（基礎） 46 取引相場のない株式⑨（基礎） 47 取引相場のない株式⑩（基礎） 48 取引相場のない株式⑪（基礎） 49 取引相場のない株式⑫（基礎） 50 取引相場のない株式⑬（基礎） 51 利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎） 52 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎） 53 相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎） 54 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎） 55 利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎） 56 不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎） 57 がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎） 58 容積率の異なる宅地（基礎） 59 都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎） 60 確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)　４回分の平均点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 貸倒損失Ⅰ（基礎） 2 貸倒損失Ⅱ（基礎） 3 貸倒引当金Ⅰ（基礎） 4 貸倒引当金Ⅱ（基礎） 5 欠損金Ⅰ（基礎） 6 欠損金Ⅱ（基礎） 7 外貨建取引Ⅰ（基礎） 8 外貨建取引Ⅱ（基礎） 9 有価証券Ⅰ（基礎） 10 有価証券Ⅱ（基礎） 11 収用等Ⅰ（基礎） 12 収用等Ⅱ（基礎） 13 所得税額控除Ⅰ（基礎） 14 所得税額控除Ⅱ（基礎） 15 国庫補助金等Ⅰ（基礎） 16 国庫補助金等Ⅱ（基礎） 17 別表五㈠の作成Ⅰ（基礎） 18 別表五㈠の作成Ⅱ（基礎） 19 圧縮記帳Ⅰ（基礎） 20 圧縮記帳Ⅱ（基礎） 21 役員判定Ⅰ（基礎） 22 役員判定Ⅱ（基礎） 23 役員給与Ⅰ（基礎） 24 役員給与Ⅱ（基礎） 25 使用人給与Ⅰ（基礎） 26 使用人給与Ⅱ（基礎） 27 特定資産の買換えⅠ（基礎） 28 特定資産の買換えⅡ（基礎） 29 外国税額控除Ⅰ（基礎） 30 外国税額控除Ⅱ（基礎） 31 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎） 32 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎） 33 みなし配当金Ⅰ（基礎） 34 みなし配当金Ⅱ（基礎） 35 資本等取引Ⅰ（基礎） 36 資本等取引Ⅱ（基礎） 37 交換差益Ⅰ（基礎） 38 交換差益Ⅱ（基礎） 39 交換差益Ⅲ（基礎） 40 別表五㈡Ⅰ（基礎） 41 別表五㈡Ⅱ（基礎） 42 別表五㈡Ⅲ（基礎） 43 別表五㈡Ⅳ（基礎） 44 リース取引Ⅰ（基礎） 45 リース取引Ⅱ（基礎） 46 リース取引Ⅲ（基礎） 47 リース取引Ⅳ（基礎） 48 繰延資産Ⅰ（基礎） 49 繰延資産Ⅱ（基礎） 50 繰延資産Ⅲ（基礎） 51 繰延資産Ⅳ（基礎） 52 確定決算型Ⅰ（基礎） 53 確定決算型Ⅱ（基礎） 54 確定決算型Ⅲ（基礎） 55 確定決算型Ⅳ（基礎） 56 グループ法人税制Ⅰ（基礎） 57 グループ法人税制Ⅱ（基礎） 58 資産の評価損益（基礎） 59 保険料（基礎） 60 確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の時期①（初級編） 2 課税仕入れ等の時期②（初級編） 3 課税売上割合①（初級編） 4 課税売上割合②（初級編） 5 課税期間における課税売上高①（初級編） 6 課税期間における課税売上高②（初級編） 7 課税売上割合に準ずる割合①（初級編） 8 課税売上割合に準ずる割合②（初級編） 9 仕入れに係る対価の返還等（初級編） 10 納税義務の免除（初級編） 11 国境を越えた役務の提供①（初級編） 12 国境を越えた役務の提供②（初級編） 13 国境を越えた役務の提供③（初級編） 14 中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 固定資産Ⅰ①（基礎編） 2 固定資産Ⅰ②（基礎編） 3 ソフトウェアⅠ①（基礎編） 4 債権債務Ⅰ①（基礎編） 5 貸倒れⅠ①（基礎編） 6 退職給付会計Ⅰ①（基礎編） 7 退職給付会計Ⅰ②（基礎編） 8 税金Ⅰ①（基礎編） 9 社債Ⅰ①（基礎編） 10 社債Ⅰ②（基礎編） 11 純資産会計Ⅰ①（基礎編） 12 純資産会計Ⅰ②（基礎編） 13 有価証券Ⅰ①（基礎編） 14 有価証券Ⅰ②（基礎編） 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①（基礎） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②（基礎） 3 分配可能額①（基礎） 4 分配可能額②（基礎） 5 分配可能額③（基礎） 6 ストック・オプション①（基礎） 7 ストック・オプション②（基礎） 8 ストック・オプション③（基礎） 9 セール＆リースバック①（基礎） 10 セール＆リースバック②（基礎） 11 財務諸表等規則①（基礎） 12 財務諸表等規則②（基礎） 13 負債①（基礎） 14 負債②（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 2 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 3 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 4 課税標準①（初級編） 5 課税標準②（初級編） 6 課税標準③（初級編） 7 課税標準④（初級編） 8 簡易課税制度①（初級編） 9 簡易課税制度②（初級編） 10 簡易課税制度③（初級編） 11 簡易課税制度④（初級編） 12 簡易課税制度⑤（初級編） 13 簡易課税制度⑥（初級編） 14 簡易課税制度⑦（初級編） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（ 2 上場株式（権利落）（基礎）、株式の割り当てを受ける権利（基礎） 3 宅地等の評価単位（基礎）、契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎） 4 純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎） 5 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎） 6 立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎） 7 贈与税が課税される場合（基礎）、相続税が課税される場合（基礎） 8 負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎） 9 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 10 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎） 11 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎 12 証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎） 13 不動産投資信託証券（基礎）、措法７０の非課税（基礎） 14 権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎） 15 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 設立事業年度（応用） 2 組織再編税制（応用） 3 工事の請負（応用） 4 修正申告（応用） 5 税効果会計（応用） 6 賃上げ・投資促進税制（応用） 7 スピンオフ税制（応用） 8 特定同族会社の特別税率（応用） 9 適用除外事業者（応用） 10 地方法人税（応用） 11 外国子会社配当（応用） 12 借地権等（応用） 13 償還差損益（応用） 14 未収還付税金（応用） 15 確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト（理論）100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 課税仕入れ等の分類①（初級編） 2 課税仕入れ等の分類②（初級編） 3 課税仕入れ等の分類③（初級編） 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編） 5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 7 納税義務の免除の特例①（初級編） 8 納税義務の免除の特例②（初級編） 9 納税義務の免除の特例③（初級編） 10 納税義務の免除の特例④（初級編） 11 納税義務の免除の特例⑤（初級編） 12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） 13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） 14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（初級編） 15 課税標準①（初級編） 16 課税標準②（初級編） 17 簡易課税制度①（初級編） 18 簡易課税制度②（初級編） 19 簡易課税制度③（初級編） 20 簡易課税制度④（初級編） 21 軽減税率①（初級編） 22 軽減税率②（初級編） 23 旧税率に関する経過措置①（初級編） 24 旧税率に関する経過措置②（初級編） 25 複数税率の場合の計算①（初級編） 26 複数税率の場合の計算②（初級編） 27 国等に対する特例①（初級編） 28 国等に対する特例②（初級編） 29 特殊項目③（税抜経理方式）（初級編） 30 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 国税徴収法の目的（基礎） 2 納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（基礎） 3 強制換価手続（基礎） 4 担保の種類（基礎） 5 滞納処分の概要（基礎） 6 国税に優先する権利（基礎） 7 国税相互間の優先関係（基礎） 8 財産の調査（基礎） 9 最優先される被担保債権（基礎） 10 法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎） 11 法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎） 12 不動産賃貸の先取特権等（基礎） 13 法定納期限等（期限後・修正、更正・決定、予定納税、源泉徴収）（基礎） 14 譲受前にある担保権（基礎） 15 担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎） 16 差押の制限等、解除（基礎） 17 差押の共通手続（基礎） 18 第三者からの差押換え（基礎） 19 差押換え（換価申立ての細部）（基礎） 20 相続人からの差押換え（基礎） 21 動産又は有価証券の差押え（基礎） 22 第三者が占有する動産等の差押手続（基礎） 23 引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎） 24 国税徴収法第２６条の計算（基礎） 25 債権の差押え（基礎） 26 不動産等の差押え（基礎） 27 第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎） 28 第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎） 29 国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎） 30 確認テスト（基礎）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品売買総論 2 商品売買の記帳方法 3 商品有高帳の記帳 4 返品・値引・割戻の処理 5 割引の処理 6 原価率等 7 仕入諸掛り・販売諸掛りの処理 8 他勘定振替高 9 棚卸資産の範囲 10 棚卸資産の期末評価 11 棚卸減耗損 12 商品評価損 13 売価還元法 14 トレーディング目的で保有する棚卸資産 15 巻末総合問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 管理会計論総論 2 管理会計論の範囲 3 原価計算の本質・意義 4 原価計算の基本思考 5 原価計算の目的 6 費目別計算総論 7 原価の分類 8 材料費の計算 9 材料費の分類 10 労務費の計算 11 労務費の計算 12 経費の計算 13 経費の分類 14 製造間接費の計算 15 製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金 2 当座預金 3 割引現在価値の概要 4 現価係数 5 年金現価係数 6 売掛金・買掛金 7 その他の債権・債務 8 前払費用 9 未払費用 10 前受収益 11 未収収益 12 手形総論 13 約束手形 14 為替手形と偶発債務 15 手形の裏書譲渡 16 手形の割引 17 不渡手形 18 手形の更改 19 営業外手形 20 金融手形（手形借入金・手形貸付金） 21 売上債権に含まれる金利部分の会計処理 22 貸倒損失 23 貸倒引当金の設定 24 貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し 25 貸倒れ処理済債権の回収 26 手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入 27 相殺適状 28 貸倒見積高の算定（一般債権） 29 貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権） 30 貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計の意義 2 資本循環と財務諸表 3 財務会計と管理会計 4 会計責任説と利害調整機能 5 意思決定有用性説と情報提供機能 6 利益の性格と財務会計の機能 7 会社法会計 8 金融商品取引法会計 9 単体開示の簡素化 10 企業会計原則 11 企業会計基準 12 会計基準の国際的コンバージェンス 13 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い 14 米国基準の任意適用 15 原則主義と細則主義
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 配賦基準 2 製造間接費の実際配賦 3 製造間接費の予定配賦 4 製造間接費予算 5 配賦差異の算定 6 固定予算 7 公式法変動予算 8 実査法変動予算 9 部門別計算の意義・目的 10 原価部門の設定 11 実際配賦（第１次集計） 12 実際配賦（第２次集計） 13 実際配賦（第３次集計） 14 予定配賦 15 予定配賦率の算定・予定配賦額の算定 16 製造部門費配賦差異の算定 17 補助部門費の配賦 18 配賦基準（単一基準配賦法） 19 配賦基準（複数基準配賦法） 20 配賦金額（実際発生額） 21 配賦金額（予定配賦額） 22 配賦金額（予算許容額） 23 個別原価計算総論 24 製造指図書と原価計算表 25 完成品原価と月末仕掛品原価の区分 26 単純個別原価計算 27 ロット別個別原価計算 28 部門別個別原価計算の意義 29 個別原価計算における仕損の処理① 30 個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個人企業と共同作業 2 会社の概念 3 法人性に関する諸問題 4 4種類の会社 5 株式会社の分類 6 株式会社の本質的特徴 7 株主有限責任の原則から導かれる資本制度 8 本質的特徴から導かれる重要な制度 9 会社設立に関する立法主義 10 株式会社の設立手続きの流れ 11 株式会社の設立の方法 12 発起人の意義 13 発起人の資格 14 発起人の数 15 定款の意義 16 定款の作成 17 定款の記載・記録事項 18 定款の備置き、閲覧・謄写 19 発起設立 20 募集設立 21 設立登記の手続き 22 設立登記の効力 23 変態設立事項に関する規制（規制の概要） 24 変態設立事項に関する規制（現物出資） 25 変態設立事項に関する規制（財産引受け） 26 変態設立事項に関する規制（発起人の報酬） 27 変態設立事項に関する規制（設立費用） 28 設立無効の意義 29 設立無効原因 30 設立無効の訴えの制度
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査とは 2 監査の分類 3 公認会計士の監査領域 4 財務諸表の監査の必要性 5 財務諸表の監査の機能 6 監査の固有の限界 7 二重責任の原則 8 財務諸表の作成責任 9 財務諸表の作成基準 10 監査人 11 監査業務の一年の流れ 12 財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠 13 監査手続き（監査技術） 14 リスク・アプローチ 15 リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題　（初級編）① 5 個別基礎問題　（初級編）② 6 個別基礎問題　（初級編）③ 7 個別基礎問題　（初級編）④ 8 個別基礎問題　（初級編）⑤ 9 個別基礎問題　（初級編）⑥ 10 個別基礎問題　（初級編）⑦ 11 個別基礎問題　（初級編）⑧ 12 個別基礎問題　（初級編）⑨ 13 個別基礎問題　（初級編）⑩ 14 個別基礎問題　（初級編）⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題　（初級編）① 2 計算基礎問題　（初級編）② 3 計算基礎問題　（初級編）③ 4 計算基礎問題　（初級編）④ 5 計算基礎問題　（初級編）⑤ 6 計算基礎問題　（初級編）⑥ 7 計算基礎問題　（初級編）⑦ 8 計算基礎問題　（初級編）⑧ 9 計算基礎問題　（初級編）⑨ 10 計算基礎問題　（初級編）⑩ 11 計算基礎問題　（初級編）⑪ 12 計算基礎問題　（初級編）⑫ 13 計算基礎問題　（初級編）⑬ 14 計算基礎問題　（初級編）⑭ 15 計算基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題　（初級編）① 2 計算基礎問題　（初級編）② 3 計算基礎問題　（初級編）③ 4 計算基礎問題　（初級編）④ 5 計算基礎問題　（初級編）⑤ 6 計算基礎問題　（初級編）⑥ 7 計算基礎問題　（初級編）⑦ 8 計算基礎問題　（初級編）⑧ 9 計算基礎問題　（初級編）⑨ 10 計算基礎問題　（初級編）⑩ 11 計算基礎問題　（初級編）⑪ 12 計算基礎問題　（初級編）⑫ 13 計算基礎問題　（初級編）⑬ 14 計算基礎問題　（初級編）⑭ 15 計算基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合Ｉ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）① 2 財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）① 3 管理会計　択一式応用問題　（初級編）① 4 企業法　択一式応用問題　（初級編）① 5 監査論　択一式応用問題　（初級編）① 6 財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）② 7 財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）② 8 管理会計　択一式応用問題　（初級編）② 9 企業法　択一式応用問題　（初級編）② 10 監査論　択一式応用問題　（初級編）② 11 財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）③ 12 財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）③ 13 管理会計　択一式応用問題　（初級編）③ 14 企業法　択一式応用問題　（初級編）③ 15 監査論　択一式応用問題　（初級編）③
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株式の意義等 2 株主の権利・義務 3 株主平等原則 4 株式の譲渡 5 自己株式の取得・処分等の制限 6 子会社による親会社株式の取得 7 株券 8 株主名簿 9 株式担保 10 株式振替制度 11 株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却 12 端数の処理 13 単元株制度 14 株主等売渡請求の概要 15 株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 IT（情報技術） 2 監査契約に係る予備的な活動 3 監査計画 4 監査証拠の入手方法 5 監査上の重要性 6 特別な検討を必要とするリスク 7 関連当事者との関係及び取引 8 会計上の見積り 9 財務諸表監査における不正の検討 10 監査における不正リスク対応基準 11 財務諸表監査における法令の検討 12 グループ監査 13 内部監査の利用 14 専門家の業務の利用 15 監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法入門Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計監査実務経験者の講義
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入（概要・計算構造） 3 減価償却（普通償却） 4 租税公課及び納税充当金 5 受取配当等の益金不算入 6 繰延資産（概要） 7 金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入 8 有価証券 9 所得税額控除（原則法） 10 寄附金の損金不算入 11 減価償却（特別償却・概要） 12 特別償却準備金 13 リース取引 14 評価損益 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学入門Ｉ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 投資理論の基礎知識 2 最適なポートフォリオの選択 3 資本資産評価モデル：CAPM（キャップエム） 4 債券評価 5 裁定取引と効率的市場 6 マルチファクターモデルと行動ファイナンス 7 企業財務論の目的 8 資本コスト 9 最適資本構成 10 プロジェクトの評価 11 配当政策（ペイアウト政策その１） 12 自社株買い（ペイアウト政策その２） 13 財務情報分析 14 M&Aにおける企業価値評価 15 企業価値評価（バリエーション）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税法の概要 2 各種所得と各種所得の金額の計算（総測） 3 減価償却 4 課税標準・課税所得金額の計算 5 所得控除額の計算 6 納税税額の計算（総則） 7 申告・納付 8 源泉徴収 9 有価証券に係る課税の特例 10 消費税法の概要 11 課税の対象 12 非課税 13 輸出免税等 14 課税標準 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（初級編）① 2 記述式基礎問題　（初級編）② 3 記述式基礎問題　（初級編）③ 4 記述式基礎問題　（初級編）④ 5 記述式基礎問題　（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	記述式基礎問題　（初級編）①
	2	記述式基礎問題　（初級編）②
	3	記述式基礎問題　（初級編）③
	4	記述式基礎問題　（初級編）④
	5	記述式基礎問題　（初級編）⑤
	6	記述式基礎問題　（初級編）⑥
	7	記述式基礎問題　（初級編）⑦
	8	記述式基礎問題　（初級編）⑧
	9	記述式基礎問題　（初級編）⑨
	10	記述式基礎問題　（初級編）⑩
	11	記述式基礎問題　（初級編）⑪
	12	記述式基礎問題　（初級編）⑫
	13	記述式基礎問題　（初級編）⑬
	14	記述式基礎問題　（初級編）⑭
	15	記述式基礎問題　（初級編）⑮
	16	記述式基礎問題　（初級編）⑯
	17	記述式基礎問題　（初級編）⑰
	18	記述式基礎問題　（初級編）⑱
	19	記述式基礎問題　（初級編）⑲
	20	記述式基礎問題　（初級編）⑳
	21	記述式基礎問題　（初級編）㉑
	22	記述式基礎問題　（初級編）㉒
	23	記述式基礎問題　（初級編）㉓
	24	記述式基礎問題　（初級編）㉔
	25	記述式基礎問題　（初級編）㉕
	26	記述式基礎問題　（初級編）㉖
	27	記述式基礎問題　（初級編）㉗
	28	記述式基礎問題　（初級編）㉘
	29	記述式基礎問題　（初級編）㉙
	30	記述式基礎問題　（初級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（初級編）① 2 記述式基礎問題　（初級編）② 3 記述式基礎問題　（初級編）③ 4 記述式基礎問題　（初級編）④ 5 記述式基礎問題　（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（初級編）① 2 記述式基礎問題　（初級編）② 3 記述式基礎問題　（初級編）③ 4 記述式基礎問題　（初級編）④ 5 記述式基礎問題　（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簡易的な計算問題によりファイナンス分野の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（初級編）① 2 記述式基礎問題　（初級編）② 3 記述式基礎問題　（初級編）③ 4 記述式基礎問題　（初級編）④ 5 記述式基礎問題　（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	計算問題を中心に法人税法に関する重要論点のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（初級編）① 2 記述式基礎問題　（初級編）② 3 記述式基礎問題　（初級編）③ 4 記述式基礎問題　（初級編）④ 5 記述式基礎問題　（初級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（初級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（初級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（初級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（初級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（初級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（初級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（初級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（初級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（初級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る			
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1 有価証券総論 2 株式に係る期中処理 3 公社債に係る期中処理 4 有価証券の分類と評価 5 親会社株式 6 約定日基準 7 修正受渡日基準 8 デリバティブ取引の概要 9 先物取引 10 オプション取引 11 スワップ取引 12 ヘッジ会計の概要 13 繰延ヘッジ 14 時価ヘッジ 15 債権譲渡 16 ローン・パーティシペーション 17 デット・アサンプション 18 デット・エクイティ・スワップ 19 ゴルフ会員権 20 有形固定資産総論 21 取得原価の決定（購入） 22 取得原価の決定（時価建設） 23 取得原価の決定（現物出資）		24 取得原価の決定（交換） 25 取得原価の決定（贈与） 26 減価償却の概要 27 減価償却（定額法） 28 減価償却（旧定率法） 29 減価償却（200％定率法） 30 減価償却（250％定額法） 31 減価償却（級数法） 32 減価償却（生産高比例法） 33 資本的支出と収益的支出 34 総合償却 35 売却 36 除却 37 下取り買替え 38 圧縮記帳（直接減額方式） 39 臨時損失 40 保険差益 41 特別目的会社を活用した不動産の流動化 42 巻末総合問題演習① 43 巻末総合問題演習② 44 巻末総合問題演習③ 45 巻末総合問題演習④	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計基準を設定するアプローチ 2 概念フレームワークの公表 3 財務報告の目的 4 会計情報の質的特性 5 財務諸表の構成要素 6 財務諸表における認識と測定 7 実現主義 8 発生主義 9 費用収益対応の原則 10 収支額基準 11 実現可能性基準 12 原価主義 13 時価主義 14 割引原価主義 15 費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総合原価計算総論 2 総合原価計算 3 直接材料費と加工費 4 仕掛品の完成品換算 5 総合原価計算の種類 6 単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義） 7 単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法） 8 単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理） 9 単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理） 10 単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理） 11 工程別総合原価計算の処理 12 工程別計算の計算手順（累加法） 13 工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法） 14 予定振替原価の利用 15 追加原材料の意義 16 追加原材料（増量しない場合） 17 組別総合原価計算の意義 18 組別総合原価計算の手続 19 等級別総合原価計算の意義 20 完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法） 21 当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法） 22 連産品 23 連結原価（結合原価）の按分 24 連産品を副産物とみなす場合の計算 25 連結原価（結合原価）を按分する理由 26 授業内演習① 27 授業内演習② 28 授業内演習③ 29 授業内演習④ 30 授業内演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方をを習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総説ー株式会社の機関設計
	2	公開会社の機関構造の特色
	3	株主総会
	4	取締役
	5	善管注意義務と忠実義務
	6	競業避止義務
	7	利益相反取引
	8	取締役の責任
	9	取締役の第三者に対する責任
	10	取締役会の意義・設置
	11	取締役会の権限
	12	代表取締役
	13	監査役
	14	監査役会
	15	会計参与
	16	会計監査人
	17	指名委員会等設置会社
	18	監査等委員会設置会社
	19	募集株式の発行等
	20	募集事項の決定
	21	募集事項の決定
	22	出資の履行等
	23	募集株式の発行等の効力発生等
	24	新株予約権
	25	社債の意義
	26	社債と株式の異同
	27	社債の発行
	28	社債の管理
	29	社債の譲渡
	30	利息の支払・償還
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査の品質管理 2 監査人の交代（監査事務所間の交代） 3 監査役等とのコミュニケーション 4 内部統制の不備に関するコミュニケーション 5 監査調書 6 監査意見の内容 7 財務諸表の適正性 8 監査報告書 9 無限定適正意見の場合 10 除外事項付意見の場合 11 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 12 追記情報の意義 13 追記情報と保証機能 14 比較情報 15 監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	短答式対策入門総合Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計監査実務経験者による演習及び解説
授業計画	1 財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）① 2 財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）① 3 管理会計　択一式総合問題　（初級編）① 4 企業法　択一式総合問題　（初級編）① 5 監査論　択一式総合問題　（初級編）① 6 財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）② 7 財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）② 8 管理会計　択一式総合問題　（初級編）② 9 企業法　択一式総合問題　（初級編）② 10 監査論　択一式総合問題　（初級編）② 11 財務会計（計算）　択一式総合問題　（初級編）③ 12 財務会計（理論）　択一式総合問題　（初級編）③ 13 管理会計　択一式総合問題　（初級編）③ 14 企業法　択一式総合問題　（初級編）③ 15 監査論　択一式総合問題　（初級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題　（初級編）① 2 記述式応用問題　（初級編）② 3 記述式応用問題　（初級編）③ 4 記述式応用問題　（初級編）④ 5 記述式応用問題　（初級編）⑤ 6 記述式応用問題　（初級編）⑥ 7 記述式応用問題　（初級編）⑦ 8 記述式応用問題　（初級編）⑧ 9 記述式応用問題　（初級編）⑨ 10 記述式応用問題　（初級編）⑩ 11 記述式応用問題　（初級編）⑪ 12 記述式応用問題　（初級編）⑫ 13 記述式応用問題　（初級編）⑬ 14 記述式応用問題　（初級編）⑭ 15 記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題　（初級編）① 2 記述式応用問題　（初級編）② 3 記述式応用問題　（初級編）③ 4 記述式応用問題　（初級編）④ 5 記述式応用問題　（初級編）⑤ 6 記述式応用問題　（初級編）⑥ 7 記述式応用問題　（初級編）⑦ 8 記述式応用問題　（初級編）⑧ 9 記述式応用問題　（初級編）⑨ 10 記述式応用問題　（初級編）⑩ 11 記述式応用問題　（初級編）⑪ 12 記述式応用問題　（初級編）⑫ 13 記述式応用問題　（初級編）⑬ 14 記述式応用問題　（初級編）⑭ 15 記述式応用問題　（初級編）⑮ 16 記述式応用問題　（初級編）⑯ 17 記述式応用問題　（初級編）⑰ 18 記述式応用問題　（初級編）⑱ 19 記述式応用問題　（初級編）⑲ 20 記述式応用問題　（初級編）⑳ 21 記述式応用問題　（初級編）㉑ 22 記述式応用問題　（初級編）㉒ 23 記述式応用問題　（初級編）㉓ 24 記述式応用問題　（初級編）㉔ 25 記述式応用問題　（初級編）㉕ 26 記述式応用問題　（初級編）㉖ 27 記述式応用問題　（初級編）㉗ 28 記述式応用問題　（初級編）㉘ 29 記述式応用問題　（初級編）㉙ 30 記述式応用問題　（初級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題　（初級編）① 2 記述式応用問題　（初級編）② 3 記述式応用問題　（初級編）③ 4 記述式応用問題　（初級編）④ 5 記述式応用問題　（初級編）⑤ 6 記述式応用問題　（初級編）⑥ 7 記述式応用問題　（初級編）⑦ 8 記述式応用問題　（初級編）⑧ 9 記述式応用問題　（初級編）⑨ 10 記述式応用問題　（初級編）⑩ 11 記述式応用問題　（初級編）⑪ 12 記述式応用問題　（初級編）⑫ 13 記述式応用問題　（初級編）⑬ 14 記述式応用問題　（初級編）⑭ 15 記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	応用的な論点について、記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題　（初級編）① 2 記述式応用問題　（初級編）② 3 記述式応用問題　（初級編）③ 4 記述式応用問題　（初級編）④ 5 記述式応用問題　（初級編）⑤ 6 記述式応用問題　（初級編）⑥ 7 記述式応用問題　（初級編）⑦ 8 記述式応用問題　（初級編）⑧ 9 記述式応用問題　（初級編）⑨ 10 記述式応用問題　（初級編）⑩ 11 記述式応用問題　（初級編）⑪ 12 記述式応用問題　（初級編）⑫ 13 記述式応用問題　（初級編）⑬ 14 記述式応用問題　（初級編）⑭ 15 記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題　（初級編）① 2 記述式応用問題　（初級編）② 3 記述式応用問題　（初級編）③ 4 記述式応用問題　（初級編）④ 5 記述式応用問題　（初級編）⑤ 6 記述式応用問題　（初級編）⑥ 7 記述式応用問題　（初級編）⑦ 8 記述式応用問題　（初級編）⑧ 9 記述式応用問題　（初級編）⑨ 10 記述式応用問題　（初級編）⑩ 11 記述式応用問題　（初級編）⑪ 12 記述式応用問題　（初級編）⑫ 13 記述式応用問題　（初級編）⑬ 14 記述式応用問題　（初級編）⑭ 15 記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法応用演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	応用的な論点について、計算・記述形式で解答することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式応用問題　（初級編）① 2 記述式応用問題　（初級編）② 3 記述式応用問題　（初級編）③ 4 記述式応用問題　（初級編）④ 5 記述式応用問題　（初級編）⑤ 6 記述式応用問題　（初級編）⑥ 7 記述式応用問題　（初級編）⑦ 8 記述式応用問題　（初級編）⑧ 9 記述式応用問題　（初級編）⑨ 10 記述式応用問題　（初級編）⑩ 11 記述式応用問題　（初級編）⑪ 12 記述式応用問題　（初級編）⑫ 13 記述式応用問題　（初級編）⑬ 14 記述式応用問題　（初級編）⑭ 15 記述式応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅴ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リース会計及びその他の資産並びに社債の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 リース取引総論 2 オペレーティング・リース 3 所有権移転ファイナンス・リース 4 所有権移転ファイナンス・リース（割安購入選択権） 5 所有権移転外ファイナンス・リース 6 所有権移転外ファイナンス・リース（残価保証） 7 維持管理費相当額 8 リース料の前払い 9 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理①） 10 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理②） 11 ファイナンス・リース取引（貸手の会計処理③） 12 セール・アンド・リースバック取引 13 転リース取引 14 無形固定資産総論 15 のれん 16 研究開発費 17 市場販売目的のソフトウェア 18 自社利用目的のソフトウェア 19 投資その他の資産 20 固定資産の減損総論 21 減損損失の判定と測定 22 将来キャッシュ・フローの見積 23 共用資産の減損 24 のれんの減損 25 繰延資産 26 社債総論 27 買入償還（定額法） 28 買入償還（利息法） 29 巻末総合問題演習① 30 巻末総合問題演習②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表入門Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 通常の販売目的で保有する棚卸資産 2 トレーディング目的で保有する棚卸資産 3 売価還元法と最終仕入原価法 4 固定資産の取得原価の決定 5 資本的支出と収益的支出 6 減価償却 7 個別償却と総合償却 8 減耗償却と取替法 9 圧縮記帳 10 株式交付費 11 社債発行費等 12 創立費 13 開業費 14 開発費 15 支出の効果が期待されなくなった繰延資産の会計処理
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 標準原価計算総論 2 標準原価計算の目的 3 標準原価の種類 4 標準原価計算制度の手続 5 製品原価の計算 6 原価差異の計算 7 原価差異の原因分析 8 原価差異の把握方法 9 標準原価計算の記帳方法 10 原価差異の会計処理 11 仕損・減損が生じる場合（終点発生） 12 仕損・減損が生じる場合（始点発生） 13 仕損・減損が生じる場合（途中一定点発生） 14 管理会計の意義 15 財務会計と管理会計の相違 16 管理会計の体系 17 財務情報分析 18 財務情報分析の意義 19 財務情報分析の種類 20 収益性分析 21 投下資本利益率 22 投下資本利益率の分解 23 安全性分析 24 短期財務安全性分析 25 長期財務安全性分析 26 キャッシュフロー分析 27 授業内演習① 28 授業内演習② 29 授業内演習③ 30 授業内演習④
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算書類その他 2 資本金・準備金・剰余金 3 剰余金の配当 4 定款変更の意義 5 定款変更の手続 6 発行可能株式総数 7 事業譲渡等 8 組織再編　総説 9 組織変更 10 合併　総説 11 会社分割　総説 12 株式交換・株式移転　総説 13 持分法会社の組織再編 14 会社の清算 15 持分会社
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論入門Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な考え方を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 継続企業の前提とは 2 継続企業の前提に関する経営者の対応 3 継続企業の前提に対する監査人の対応 4 中間監査総論 5 四半期レビュー制度 6 特別目的会社の財務諸表の監査 7 内部統制報告制度概要 8 会計監査人監査制度概要 9 金融商品取引法による企業内容開示制度 10 公認会計士法 11 公認会計士制度の創設・発足 12 倫理規則の趣旨及び精神 13 保証業務概論 14 保証業務の位置付け 15 公認会計士制度の創設・発足
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記計算特訓Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	退職給付会計及び資産除去債務の基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 確定給付企業年金制度（一連の会計処理） 2 確定給付企業年金制度（従業員拠出） 3 確定給付企業年金制度（数理計算上の差異） 4 確定給付企業年金制度（過去勤務費用） 5 確定給付企業年金制度（年金資産の返還） 6 確定給付企業年金制度（退職給付信託） 7 確定拠出企業年金制度 8 退職給付制度の終了 9 資産除去債務総論 10 見積りの変更（見積額が増加する場合） 11 見積りの変更（見積額が増加する場合） 12 資産除去債務の算定（最頻値法・期待値法） 13 資産除去債務が複数の資産から構成される場合 14 巻末総合問題演習① 15 巻末総合問題演習②
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論計算特訓Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	入門講義で学習した知識を基に、正確に計算し、解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 材料費会計 2 労務費会計 3 経費会計 4 製造間接費会計 5 部門別計算 6 個別原価計算 7 部門別個別原価計算 8 総合原価計算① 9 総合原価計算② 10 総合原価計算③ 11 総合原価計算④ 12 標準原価計算① 13 標準原価計算② 14 標準原価計算③ 15 授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算応用問題　（初級編）① 2 計算応用問題　（初級編）② 3 計算応用問題　（初級編）③ 4 計算応用問題　（初級編）④ 5 計算応用問題　（初級編）⑤ 6 計算応用問題　（初級編）⑥ 7 計算応用問題　（初級編）⑦ 8 計算応用問題　（初級編）⑧ 9 計算応用問題　（初級編）⑨ 10 計算応用問題　（初級編）⑩ 11 計算応用問題　（初級編）⑪ 12 計算応用問題　（初級編）⑫ 13 計算応用問題　（初級編）⑬ 14 計算応用問題　（初級編）⑭ 15 計算応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、応用的な計算力を高める
達成目標	正しい解法手順で総合問題を解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算応用問題　（初級編）① 2 計算応用問題　（初級編）② 3 計算応用問題　（初級編）③ 4 計算応用問題　（初級編）④ 5 計算応用問題　（初級編）⑤ 6 計算応用問題　（初級編）⑥ 7 計算応用問題　（初級編）⑦ 8 計算応用問題　（初級編）⑧ 9 計算応用問題　（初級編）⑨ 10 計算応用問題　（初級編）⑩ 11 計算応用問題　（初級編）⑪ 12 計算応用問題　（初級編）⑫ 13 計算応用問題　（初級編）⑬ 14 計算応用問題　（初級編）⑭ 15 計算応用問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題　（初級編）① 2 記述式総合問題　（初級編）② 3 記述式総合問題　（初級編）③ 4 記述式総合問題　（初級編）④ 5 記述式総合問題　（初級編）⑤ 6 記述式総合問題　（初級編）⑥ 7 記述式総合問題　（初級編）⑦ 8 記述式総合問題　（初級編）⑧ 9 記述式総合問題　（初級編）⑨ 10 記述式総合問題　（初級編）⑩ 11 記述式総合問題　（初級編）⑪ 12 記述式総合問題　（初級編）⑫ 13 記述式総合問題　（初級編）⑬ 14 記述式総合問題　（初級編）⑭ 15 記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題　（初級編）① 2 記述式総合問題　（初級編）② 3 記述式総合問題　（初級編）③ 4 記述式総合問題　（初級編）④ 5 記述式総合問題　（初級編）⑤ 6 記述式総合問題　（初級編）⑥ 7 記述式総合問題　（初級編）⑦ 8 記述式総合問題　（初級編）⑧ 9 記述式総合問題　（初級編）⑨ 10 記述式総合問題　（初級編）⑩ 11 記述式総合問題　（初級編）⑪ 12 記述式総合問題　（初級編）⑫ 13 記述式総合問題　（初級編）⑬ 14 記述式総合問題　（初級編）⑭ 15 記述式総合問題　（初級編）⑮ 16 記述式総合問題　（初級編）⑯ 17 記述式総合問題　（初級編）⑰ 18 記述式総合問題　（初級編）⑱ 19 記述式総合問題　（初級編）⑲ 20 記述式総合問題　（初級編）⑳ 21 記述式総合問題　（初級編）㉑ 22 記述式総合問題　（初級編）㉒ 23 記述式総合問題　（初級編）㉓ 24 記述式総合問題　（初級編）㉔ 25 記述式総合問題　（初級編）㉕ 26 記述式総合問題　（初級編）㉖ 27 記述式総合問題　（初級編）㉗ 28 記述式総合問題　（初級編）㉘ 29 記述式総合問題　（初級編）㉙ 30 記述式総合問題　（初級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題　（初級編）① 2 記述式総合問題　（初級編）② 3 記述式総合問題　（初級編）③ 4 記述式総合問題　（初級編）④ 5 記述式総合問題　（初級編）⑤ 6 記述式総合問題　（初級編）⑥ 7 記述式総合問題　（初級編）⑦ 8 記述式総合問題　（初級編）⑧ 9 記述式総合問題　（初級編）⑨ 10 記述式総合問題　（初級編）⑩ 11 記述式総合問題　（初級編）⑪ 12 記述式総合問題　（初級編）⑫ 13 記述式総合問題　（初級編）⑬ 14 記述式総合問題　（初級編）⑭ 15 記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題　（初級編）① 2 記述式総合問題　（初級編）② 3 記述式総合問題　（初級編）③ 4 記述式総合問題　（初級編）④ 5 記述式総合問題　（初級編）⑤ 6 記述式総合問題　（初級編）⑥ 7 記述式総合問題　（初級編）⑦ 8 記述式総合問題　（初級編）⑧ 9 記述式総合問題　（初級編）⑨ 10 記述式総合問題　（初級編）⑩ 11 記述式総合問題　（初級編）⑪ 12 記述式総合問題　（初級編）⑫ 13 記述式総合問題　（初級編）⑬ 14 記述式総合問題　（初級編）⑭ 15 記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題　（初級編）① 2 記述式総合問題　（初級編）② 3 記述式総合問題　（初級編）③ 4 記述式総合問題　（初級編）④ 5 記述式総合問題　（初級編）⑤ 6 記述式総合問題　（初級編）⑥ 7 記述式総合問題　（初級編）⑦ 8 記述式総合問題　（初級編）⑧ 9 記述式総合問題　（初級編）⑨ 10 記述式総合問題　（初級編）⑩ 11 記述式総合問題　（初級編）⑪ 12 記述式総合問題　（初級編）⑫ 13 記述式総合問題　（初級編）⑬ 14 記述式総合問題　（初級編）⑭ 15 記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法直前演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	難易度の高い問題ついて、的確な解法で解答を導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式総合問題　（初級編）① 2 記述式総合問題　（初級編）② 3 記述式総合問題　（初級編）③ 4 記述式総合問題　（初級編）④ 5 記述式総合問題　（初級編）⑤ 6 記述式総合問題　（初級編）⑥ 7 記述式総合問題　（初級編）⑦ 8 記述式総合問題　（初級編）⑧ 9 記述式総合問題　（初級編）⑨ 10 記述式総合問題　（初級編）⑩ 11 記述式総合問題　（初級編）⑪ 12 記述式総合問題　（初級編）⑫ 13 記述式総合問題　（初級編）⑬ 14 記述式総合問題　（初級編）⑭ 15 記述式総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	論文式対策総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験形式による総合問題の効果測定
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	論文式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 解答上の留意点 2 財務会計（計算）　記述式模擬試験　（初級編）① 3 財務会計（理論）　記述式模擬試験　（初級編）① 4 管理会計　記述式模擬試験　（初級編）① 5 企業法　記述式模擬試験　（初級編）① 6 監査論　記述式模擬試験　（初級編）① 7 租税法　記述式模擬試験　（初級編）① 8 経営学　記述式模擬試験　（初級編）① 9 財務会計（計算）　記述式模擬試験　（初級編）② 10 財務会計（理論）　記述式模擬試験　（初級編）② 11 管理会計　記述式模擬試験　（初級編）② 12 企業法　記述式模擬試験　（初級編）② 13 監査論　記述式模擬試験　（初級編）② 14 租税法　記述式模擬試験　（初級編）② 15 経営学　記述式模擬試験　（初級編）②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識の習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 純資産会計総論 2 株式の発行 3 剰余金の配当 4 計数の変動 5 剰余金の処分 6 自己株式 7 分配可能額の算定① 8 分配可能額の算定② 9 株主資本等変動計算書 10 新株予約権総論 11 新株予約権の会計処理（発行者側） 12 自己新株予約権 13 新株予約権の開示 14 新株予約権の会計処理（取得者側） 15 新株予約権付社債（総論） 16 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）① 17 新株予約権付社債の会計処理（発行者側）② 18 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）① 19 新株予約権付社債の会計処理（取得者側）② 20 ストック・オプション（総論） 21 権利不確定による失効 22 対象勤務期間 23 段階的に権利行使が可能となる場合 24 公正な評価単価の変動 25 ストック・オプション数の変動 26 費用の計上期間を変動させる条件変更 27 法人税 28 事業税 29 消費税 30 その他税金
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	負債会計及び純資産会計に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 製品保証引当金 2 売上割戻引当金 3 返品調整引当金 4 修繕引当金 5 資産除去債務の範囲 6 資産除去債務の会計処理 7 資産除去債務の開示 8 株主資本の分類 9 資本金 10 資本剰余金 11 利益剰余金 12 自己株式 13 資本金および準備金の額の減少 14 資本剰余金と利益剰余金の混同の禁止 15 剰余金の配当等
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 短期利益計画のための管理会計 2 短期利益計画の基礎 3 利益計画の意義 4 中期経営計画と短期利益計画 5 短期利益計画のプロセス 6 CVP分析（Cost-Volume-Profit Analysis） 7 CVP分析の意義 8 原価・営業量・利益の関係 9 CVP分析の仮定 10 損益分岐点売上高（販売量）の算定 11 希望（目標）営業利益を達成する売上高（販売量）の算定 12 希望（目標）売上高営業利益率をあげる売上高 13 損益分岐図表・限界利益図表 14 安全（余裕）率・損益分岐点比率 15 経営レバレッジ係数 16 多品種製品を取り扱っている場合のCVP分析 17 多品種製品を取り扱っている場合の限界利益図表の作成 18 CVP感度分析 19 営業外損益の取り扱い 20 全部原価計算の損益分岐分析 21 CVPC分析 22 原価分解の必要性 23 原価態様（コスト・ビヘイビア）に基づく原価分類 24 原価分解の方法 25 直接原価計算の基礎 26 直接原価計算の意義 27 直接原価計算の特徴 28 直接原価計算の有用性 29 全部原価計算との関係 30 授業内演習及び確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、会社の設立や株式に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会社の概念 2 会社の種類 3 株式会社の概念 4 会社設立 5 発起人 6 定款の作成 7 発起設立と募集設立 8 変態設立事項に関する規制 9 設立登記 10 設立関与者の責任 11 設立の瑕疵 12 株式の意義 13 株式不可分の原則 14 株主の権利・義務の意義 15 株主の権利に関する規定 16 株主平等原則の意義 17 株主平等原則の趣旨・効果 18 株主平等原則の例外 19 株式譲渡自由の原則 20 自己株式取得規制の概要 21 子会社による親会社株式の取得 22 株券の意義 23 株式譲渡の効力発生要件、対抗要件 24 株主名簿の意義等 25 名義書換制度 26 株式の担保化 27 株式振替制度の意義 28 端数が生ずる場合 29 単元株制度の意義 30 株式等売渡請求の概要
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表監査総論 2 意見表明の対象である財務諸表 3 監査主体論、監査基準論 4 監査人 5 職業倫理（監査人に要求される条件） 6 専門能力及び知識 7 主要勘定と帳簿、証拠等の例 8 アサーション 9 監査技術　監査証拠 10 監査技術　閲覧 11 監査技術　帳簿突合 12 監査技術　証憑突合 13 監査技術　実査 14 監査技術　観察 15 監査技術　再計算
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算総合問題　（初級編）① 2 計算総合問題　（初級編）② 3 計算総合問題　（初級編）③ 4 計算総合問題　（初級編）④ 5 計算総合問題　（初級編）⑤ 6 計算総合問題　（初級編）⑥ 7 計算総合問題　（初級編）⑦ 8 計算総合問題　（初級編）⑧ 9 計算総合問題　（初級編）⑨ 10 計算総合問題　（初級編）⑩ 11 計算総合問題　（初級編）⑪ 12 計算総合問題　（初級編）⑫ 13 計算総合問題　（初級編）⑬ 14 計算総合問題　（初級編）⑭ 15 計算総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論入門演習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算総合問題　（初級編）① 2 計算総合問題　（初級編）② 3 計算総合問題　（初級編）③ 4 計算総合問題　（初級編）④ 5 計算総合問題　（初級編）⑤ 6 計算総合問題　（初級編）⑥ 7 計算総合問題　（初級編）⑦ 8 計算総合問題　（初級編）⑧ 9 計算総合問題　（初級編）⑨ 10 計算総合問題　（初級編）⑩ 11 計算総合問題　（初級編）⑪ 12 計算総合問題　（初級編）⑫ 13 計算総合問題　（初級編）⑬ 14 計算総合問題　（初級編）⑭ 15 計算総合問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社法における、株式会社の機関に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総説ー株式会社の機関設計 2 公開会社の機関構造の特色 3 株主総会の権限 4 総会屋対策 5 株主総会決議の瑕疵 6 取締役の行為規制の必要性 7 善管注意義務と忠実義務 8 利益相反取引 9 取締役の報酬規制 10 違反行為差止請求権 11 取締役会の意義・設置 12 代表取締役の意義・設置 13 監査役の権限・義務 14 監査役会の権限 15 会計参与の権限・義務
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査技術　再実施 2 監査技術　質問 3 監査技術　年齢調べ 4 監査技術　棚卸資産に対する手続 5 監査技術　確認 6 監査技術　分析的手続 7 監査技術　経営者確認書 8 リスク・アプローチ 9 監査リスク 10 リスク評価手続の全体像 11 リスク・アプローチとの関係 12 監査とIT 13 ITの特徴① 14 ITの特徴② 15 監査に係る予備的な活動　契約の締結まで
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基礎演習① 2 基礎演習② 3 基礎演習③ 4 個別基礎問題　（中級編）① 5 個別基礎問題　（中級編）② 6 個別基礎問題　（中級編）③ 7 個別基礎問題　（中級編）④ 8 個別基礎問題　（中級編）⑤ 9 個別基礎問題　（中級編）⑥ 10 個別基礎問題　（中級編）⑦ 11 個別基礎問題　（中級編）⑧ 12 個別基礎問題　（中級編）⑨ 13 個別基礎問題　（中級編）⑩ 14 個別基礎問題　（中級編）⑪ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論簿記上級演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題　（中級編）① 2 計算基礎問題　（中級編）② 3 計算基礎問題　（中級編）③ 4 計算基礎問題　（中級編）④ 5 計算基礎問題　（中級編）⑤ 6 計算基礎問題　（中級編）⑥ 7 計算基礎問題　（中級編）⑦ 8 計算基礎問題　（中級編）⑧ 9 計算基礎問題　（中級編）⑨ 10 計算基礎問題　（中級編）⑩ 11 計算基礎問題　（中級編）⑪ 12 計算基礎問題　（中級編）⑫ 13 計算基礎問題　（中級編）⑬ 14 計算基礎問題　（中級編）⑭ 15 計算基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論上級演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 計算基礎問題　（中級編）① 2 計算基礎問題　（中級編）② 3 計算基礎問題　（中級編）③ 4 計算基礎問題　（中級編）④ 5 計算基礎問題　（中級編）⑤ 6 計算基礎問題　（中級編）⑥ 7 計算基礎問題　（中級編）⑦ 8 計算基礎問題　（中級編）⑧ 9 計算基礎問題　（中級編）⑨ 10 計算基礎問題　（中級編）⑩ 11 計算基礎問題　（中級編）⑪ 12 計算基礎問題　（中級編）⑫ 13 計算基礎問題　（中級編）⑬ 14 計算基礎問題　（中級編）⑭ 15 計算基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	短答式対策上級総合Ｉ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験形式による効果測定
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	会計監査実務経験者による演習及び解説
授業計画	1 財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）① 2 財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）① 3 管理会計　択一式応用問題　（中級編）① 4 企業法　択一式応用問題　（中級編）① 5 監査論　択一式応用問題　（中級編）① 6 財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）② 7 財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）② 8 管理会計　択一式応用問題　（中級編）② 9 企業法　択一式応用問題　（中級編）② 10 監査論　択一式応用問題　（中級編）② 11 財務会計（計算）　択一式応用問題　（中級編）③ 12 財務会計（理論）　択一式応用問題　（中級編）③ 13 管理会計　択一式応用問題　（中級編）③ 14 企業法　択一式応用問題　（中級編）③ 15 監査論　択一式応用問題　（中級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 法人税額の計算の基礎 3 使途秘匿金（追加課税される金額） 4 外国税額控除 5 貸倒損失（貸倒損失の計上が認められる場合） 6 欠損金の繰越控除・繰戻し還付 7 収用等の特別控除（特別控除の適用要件） 8 圧縮記帳 9 役員・使用人兼務役員の判定 10 役員給与（１項基準額） 11 使用人給与 12 外国子会社から受ける配当等の益金不算入 13 みなし配当 14 グループ法人税制（概要） 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	学習した知識を基に経営分析することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 バランスト・スコアカード（BSC） 2 デリバティブ 3 先物取引 4 オプション取引 5 オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成） 6 金利オプション 7 スワップ取引 8 テイラーの科学的管理法 9 ファヨールの管理論 10 人間関係論と近代モチベーション論 11 バーナード理論 12 サイモン、マーチの理論 13 管理原則論 14 組織構造論（各論） 15 組織文化論
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	計算項目を理論的側面から捉える
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	申告書の作成手続きを理解できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税法の概要 2 各種所得と各種所得の金額の計算（不動産所得・譲渡所得） 3 減価償却 4 課税標準・課税所得金額の計算 5 所得控除額の計算 6 納税税額の計算（報酬・料金等に係る源泉徴収） 7 申告・納付 8 源泉徴収 9 有価証券に係る課税の特例 10 消費税法の概要 11 仕入れに係る消費税額 12 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整 13 仕入れに係る対価の返還等 14 売上げに係る対価の返還等 15 講義内演習・確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（中級編）① 2 記述式基礎問題　（中級編）② 3 記述式基礎問題　（中級編）③ 4 記述式基礎問題　（中級編）④ 5 記述式基礎問題　（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（中級編）① 2 記述式基礎問題　（中級編）② 3 記述式基礎問題　（中級編）③ 4 記述式基礎問題　（中級編）④ 5 記述式基礎問題　（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（中級編）⑮ 16 記述式基礎問題　（中級編）⑯ 17 記述式基礎問題　（中級編）⑰ 18 記述式基礎問題　（中級編）⑱ 19 記述式基礎問題　（中級編）⑲ 20 記述式基礎問題　（中級編）⑳ 21 記述式基礎問題　（中級編）㉑ 22 記述式基礎問題　（中級編）㉒ 23 記述式基礎問題　（中級編）㉓ 24 記述式基礎問題　（中級編）㉔ 25 記述式基礎問題　（中級編）㉕ 26 記述式基礎問題　（中級編）㉖ 27 記述式基礎問題　（中級編）㉗ 28 記述式基礎問題　（中級編）㉘ 29 記述式基礎問題　（中級編）㉙ 30 記述式基礎問題　（中級編）㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（中級編）① 2 記述式基礎問題　（中級編）② 3 記述式基礎問題　（中級編）③ 4 記述式基礎問題　（中級編）④ 5 記述式基礎問題　（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な論点について記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（中級編）① 2 記述式基礎問題　（中級編）② 3 記述式基礎問題　（中級編）③ 4 記述式基礎問題　（中級編）④ 5 記述式基礎問題　（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（中級編）① 2 記述式基礎問題　（中級編）② 3 記述式基礎問題　（中級編）③ 4 記述式基礎問題　（中級編）④ 5 記述式基礎問題　（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	租税法基礎演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める
達成目標	基礎的な論点について計算・記述形式で解答できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 記述式基礎問題　（中級編）① 2 記述式基礎問題　（中級編）② 3 記述式基礎問題　（中級編）③ 4 記述式基礎問題　（中級編）④ 5 記述式基礎問題　（中級編）⑤ 6 記述式基礎問題　（中級編）⑥ 7 記述式基礎問題　（中級編）⑦ 8 記述式基礎問題　（中級編）⑧ 9 記述式基礎問題　（中級編）⑨ 10 記述式基礎問題　（中級編）⑩ 11 記述式基礎問題　（中級編）⑪ 12 記述式基礎問題　（中級編）⑫ 13 記述式基礎問題　（中級編）⑬ 14 記述式基礎問題　（中級編）⑭ 15 記述式基礎問題　（中級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論簿記基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	連結会計に関する基礎的な問題の解答を正確に導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	連結財務諸表総論	24	社債取引（発行時取得）
	2	支配獲得日における連結貸借対照表の作成	25	社債取引（発行後取得）
	3	支配獲得日以降における連結貸借対照表の作成	26	持分法総論
	4	段階取得（その他投資先から子会社）	27	持分法（追加取得）
	5	段階取得（関連会社から子会社）	28	持分法（一部売却）
	6	子会社株式の追加取得	29	持分法（持分法除外）
	7	子会社株式の一部売却	30	持分法（未実現利益の消去）
	8	連結除外（関連会社になった場合）	31	連結税効果（未実現利益：棚卸資産）
	9	連結除外（関連会社にも該当しなくなった場	32	連結税効果（未実現利益：非償却性資産）
	10	子会社の増資（株主割当有償増資）	33	連結税効果（未実現利益：償却性資産）
	11	子会社の増資（第三者割当有償増資）	34	連結税効果（未実現利益：持分法適用会社）
	12	子会社の新株予約権の取扱い	35	連結税効果（貸倒引当金）
	13	子会社が保有する自己株式	36	連結税効果（子会社の評価差額：非償却性資産）
	14	評価差額の実現（非償却性資産）	37	連結税効果（子会社の評価差額：償却性資産）
	15	評価差額の実現（償却性資産）	38	連結税効果（関連会社の評価差額）
	16	成果連結総論	39	連結税効果（財務諸表表示）
	17	未実現利益の消去（棚卸資産）	40	連結税効果（税率の変更）
	18	債権債務の相殺及び貸倒引当金の調整	41	包括利益総論
	19	未達取引（未達商品）	42	巻末総合問題演習①
	20	未達取引（決済未達）	43	巻末総合問題演習②
	21	手形取引	44	巻末総合問題演習③
	22	未実現利益の消去（非償却性資産）	45	巻末総合問題演習④
	23	未実現利益の消去（償却性資産）		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計論財表基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	財務諸表の表示及び注記に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株主資本等変動計算書の目的 2 株主資本等変動計算書に記載すべき項目の範囲 3 株主資本等変動計算書の表示方法 4 株主資本等変動計算書の注記事項 5 キャッシュ・フロー計算書の作成目的 6 利益とキャッシュ・フロー 7 資金概念 8 キャッシュ・フロー計算書の区分 9 直接法と間接法 10 キャッシュ・フロー計算書の注記事項 11 会計方針 12 後発事象 13 偶発事象 14 時価情報 15 継続企業情報
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	管理会計論基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解し、説明できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 直接実際原価計算 2 直接実際原価計算の意義 3 直接実際原価計算による損益計算書 4 固定費調整 5 直接標準原価計算 6 直接標準原価計算の意義 7 直接標準原価計算による損益計算書 8 直接標準原価計算における固定費調整 9 直接原価計算に関する諸論点 10 生産・販売量と営業利益の関係の整理 11 セグメント別損益計算書 12 固定費（キャパシテイ・コスト）の管理 13 直接原価計算による営業利益が制度外とされている理由 14 予算管理の基礎 15 予算と予算管理の意義 16 予算管理のプロセス 17 予算管理と責任会計 18 予算の種類 19 予算編成の方法 20 予算編成の手順 21 予算統制 22 予算実績差異分析の意義と手続 23 予算実績比較損益計算書の作成 24 予算実績差異分析の詳細 25 予算報告書 26 講義内演習① 27 講義内演習② 28 講義内演習③ 29 講義内演習④ 30 講義内演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	企業法基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る
達成目標	会社法における、資金調達に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 資金調達総説 2 募集株式の発行等の意義 3 募集事項の決定事項 4 募集事項の決定機関 5 募集株式の申込み 6 募集株式の割当て 7 総数引受の場合ー申込み・割当ての例外 8 募集株式の引受け 9 申込み（引受け）の瑕疵ー引受けの無効又は取消しの制限 10 出資の履行等 11 失権株式 12 募集株式の発行等の効力発生時期と変更登記 13 払込金額が不公正な場合・出資された財産等の価額が不足する場合の責任 14 違法発行に対する措置 15 新株予約権の意義 16 募集新株予約権の発行 17 新株予約権の譲渡 18 新株予約権の行使 19 新株予約権無償割当て（277条～） 20 株式と社債の共通点 21 株式と社債の相違点 22 株式と社債の接近化現象 23 募集株式の発行手続 24 社債原簿 25 社債管理者 26 社債権者集会 27 社債の譲渡（社債券を発行しない場合） 28 社債の譲渡（社債券を発行する場合） 29 利息の支払 30 社債の償還
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	監査論基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査に係る予備的な活動　意義 2 監査に係る予備的な活動　何を検討するのか 3 監査に係る予備的な活動　検討の結果 4 監査計画の定義 5 監査計画の分類 6 監査証拠の入手方法 7 監査サンプリング 8 重要性の定義 9 監査上の重要性が用いられる場面 10 重要な虚偽表示か否かの判断 11 監査上の重要性の例 12 重要性の基準値の決定 13 特別な検討を必要とするリスクの定義等 14 特別な検討を必要とするリスク評価手続き及びリスクの識別・評価 15 関連当事者とは
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計士キャリアデザインⅡ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	オフィスツアーなども行いながら、会計・監査の実務家から実務的に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	会計・監査の実務に必要な知識を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	会計監査実務経験者の指導に基づく演習
授業計画	1 実務家講演　1　短答式試験受験の心得 2 実務家講演　2　論文式試験受験の心得 3 実務家講演　3　監査法人の仕事 4 実務家講演　4　（個人事務所設立）独立後の仕事 5 監査法人理解　3　オフィスツアー　1 6 監査法人理解　4　オフィスツアー　2 7 監査法人理解　5　監査法人合同説明会 8 監査法人理解　6　職種研究　1　（監査） 9 監査法人理解　7　職業研究　2　（金融　） 10 監査法人理解　8　職業研究　3　（パブリック　） 11 監査法人理解　9　職業研究　4　（　Ｉ　Ｔ　） 12 監査法人理解　10　職業研究　5　（海外　） 13 監査法人理解　11　職業研究　6　（コンサルティング　） 14 監査法人理解　12　職業研究　7　（その他　） 15 実務家講演　5　公認会計士の将来像について
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ｉ　数的推理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式・不等式（方程式）
	2	方程式・不等式（不定式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数、割り算の余り、整数の性質）
	4	整数・計算パズル（数列、ｎ進法、その他、整数に関する問題）
	5	割合と比（割合、比）
	6	割合と比（売買算）
	7	割合と比（濃度）
	8	割合と比（濃度）、速さ（速さ）
	9	速さ（旅人算）
	10	速さ（通過算、流水算）
	11	速さ（時計算）、仕事算（仕事算、給排水算）
	12	仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	13	その他文章題（年齢算、平均算）
	14	場合の数（場合の数、順列、重複組合せ、円順列）
	15	確率（事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義１コマを実施	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅱ　判断推理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間（１単位）	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合）
	2	集合の要素（ベン図、キャロル表、交わりの最小値）
	3	順序（順序の確定、順序の変動）
	4	順序（順序の数値条件、時計のずれ）
	5	位置・方位（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	6	位置・方位（円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図）
	7	対応（対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	8	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）・うそつき
	9	暗号、推理・手順（他人の判断から判断する）
	10	推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅲ　空間把握・資料解釈	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２４時間（１単位）	
授業コマ数	１２コマ	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読みとく力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相
	2	平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	3	正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ）
	4	立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断）
	5	立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度）
	6	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	7	平面図形の計量（相似比、面積比）
	8	平面図形の計量（面積比、円）
	9	平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量
	10	立体図形の計量
	11	資料解釈（実数、割合・指数・前年比）
	12	資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅰ　政治
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間（１単位）
授業コマ数	１０コマ
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ　経済
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２４時間（１単位）
授業コマ数	１２コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と 本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　経済社会の変容、現代の企業 2　現代の市場 3　国民所得 4　経済成長と景気循環 5　通貨制度と金融政策 6　財政制度と財政政策 7　貿易と外国為替 8　日本経済の動向 9　国際経済の動向 10　社会理論、労働問題 11　社会保障、環境問題 12　国際関係、現代の諸相
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅰ　地理
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間（１単位）
授業コマ数	１０コマ
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ　歴史
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史１（殷～漢） 12 中国史２（魏晋南北朝～隋・唐） 13 中国史３（宋・元） 14 中国史４（明・清） 15 中国史５（清の崩壊・中華民国）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践言語Ⅰ　文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１５時間（１単位）	
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ１時間	
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握、四字熟語
	2	要旨把握、四字熟語
	3	内容合致、ことわざ
	4	内容合致、ことわざ
	5	文章整除、文法基礎
	6	文章整除、文法基礎
	7	文章の穴埋め、敬語
	8	科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅰ　数的処理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２４時間（１単位）	
授業コマ数	１２コマ	
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	数的推理総合演習
	2	数的推理総合演習
	3	数的推理総合演習
	4	科目試験１
	5	判断推理総合演習
	6	判断推理総合演習
	7	判断推理総合演習
	8	科目試験２
	9	図形・資料解釈総合演習
	10	図形・資料解釈総合演習
	11	図形・資料解釈総合演習
	12	科目試験３
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅱ　社会科学	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２８時間（１単位）	
授業コマ数	１４コマ	
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権
	3	国会の機構と運営
	4	内閣の機構と運営
	5	裁判所の機構と運営
	6	地方自治、選挙制度
	7	科目試験１
	8	現代の企業、現代の市場
	9	国民所得
	10	通貨制度と金融政策
	11	財政制度と財政政策
	12	貿易と外国為替
	13	社会総合
	14	科目試験２
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２４時間（１単位）
授業コマ数	１２コマ
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 日本史（中世、近世Ⅰ） 2 日本史（近世Ⅱ、近代Ⅰ） 3 日本史（近代Ⅱ、現代、通史） 4 地理（自然環境と地図） 5 地理（資源と産業、生活と地域） 6 地理（日本の地理） 7 地理（世界の地理） 8 世界史（東洋世界） 9 世界史（現代世界） 10 倫理（西洋思想） 11 倫理（東洋思想） 12 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践答案練習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４８時間（２単位）	
授業コマ数	２４コマ	
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	実戦的なレベルの模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１
	2	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験２
	3	警察官タイプの模擬試験
	4	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験３
	5	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験４
	6	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験５
	7	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験６
	8	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験７
	9	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験８
	10	海上保安学校タイプの模擬試験
	11	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験９
	12	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１０
	13	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１１
	14	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１２
	15	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１３
	16	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１４
	17	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１５
	18	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１６
	19	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１７
	20	国家公務員タイプの模擬試験
	21	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１８
	22	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１９
	23	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験２０
	24	地方公務員タイプの模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	第1回から第15回までは模擬試験の取り組み姿勢、第16回から第24回までは模擬試験成績にて評価	
備考	基礎的なレベルの模擬試験として、一部過去問を含む場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１０８時間（４単位）	
授業コマ数	５４コマ	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1・2	実戦的なタイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説
	3・4	実戦的なタイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説
	5・6	実戦的なタイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説
	7・8	実戦的なタイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説
	9・10	実戦的なタイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説
	11・12	実戦的なタイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説
	13・14	国家公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説
	15・16	実戦的なタイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説
	17・18	地方公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説
	19・20	地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説
	21・22	地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説
	23・24	地方公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説
	25・26	国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説
	27・28	国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説
	29・30	国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説
	31・32	国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説
	33・34	消防官（中級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説
	35・36	消防官（初級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説
	37・38	地方公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説
	39・40	実戦的なタイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説
	41・42	警察官タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説
	43・44	選択式（地方公務員２タイプ・裁判所）模擬試験・当該模擬試験の解説
	45・46	刑務官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説
	47・48	実戦的なタイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説
	49・50	警察官タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説
	51・52	実戦的なタイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説
	53・54	地方公務員タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野１） 2 時事（政治分野２） 3 時事（政治分野３） 4 時事（経済分野１） 5 時事（経済分野２） 6 時事（文化１） 7 時事（文化２） 8 時事（文化３） 9 時事（科学１） 10 時事（科学２） 11 時事（科学３） 12 時事（科学４） 13 時事（科学５） 14 時事（国際問題１） 15 時事（国際問題２）
成績評価方法 （試験実施方法）	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４０時間（２単位）	
授業コマ数	２０コマ	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験練習１
	2	適性試験練習２
	3	適性試験練習３
	4	適性試験練習４
	5	適性試験練習５
	6	適性試験練習６
	7	適性試験練習７
	8	適性試験練習８
	9	適性試験練習９
	10	適性試験練習１０
	11	適性試験練習１１
	12	適性試験練習１２
	13	適性試験練習１３
	14	適性試験練習１４
	15	適性試験練習１５
	16	適性試験練習１６
	17	適性試験練習１７
	18	適性試験練習１８
	19	適性試験練習１９
	20	適性試験練習２０
成績評価方法 （試験実施方法）	練習課題における得点で評価	
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（２単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習１ 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習２ 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習３ 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習４ 6 作文練習１ 7 作文練習２ 8 作文練習３ 9 作文練習４ 10 作文練習５ 11 作文練習６ 12 作文練習７ 13 作文練習８ 14 作文練習９ 15 作文練習１０
成績評価方法 （試験実施方法）	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	テキストによる電卓基本操作の講義と問題演習
達成目標	電卓技能検定３級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 電卓総合演習１ 8 電卓総合演習２ 9 電卓総合演習３ 10 電卓総合演習４ 11 電卓総合演習５ 12 電卓総合演習６ 13 電卓総合演習７ 14 電卓総合演習８ 15 電卓総合演習９
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定１・２級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習１
	3	電卓実践演習２
	4	電卓実践演習３
	5	電卓実践演習４
	6	電卓実践演習５
	7	電卓実践演習６
	8	電卓実践演習７
	9	電卓実践演習８
	10	電卓実践演習９
	11	電卓実践演習１０
	12	電卓実践演習１１
	13	電卓実践演習１２
	14	電卓実践演習１３
	15	電卓実践演習１４
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書作成	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	文字入力の基礎１
	2	文字入力の基礎２
	3	ビジネス文書作成１（案内文）
	4	ビジネス文書作成２（案内文）
	5	ビジネス文書作成３（送付状）
	6	ビジネス文書作成４（送付状）
	7	ビジネス文書作成５（社内文書）
	8	ビジネス文書作成６（社内文書）
	9	ビジネス文書作成７（表作成）
	10	ビジネス文書作成８（表作成）
	11	ビジネス文書作成９（表作成）
	12	ビジネス文書作成１０（文章と表の組み合わせ）
	13	ビジネス文書作成１１（文章と表の組み合わせ）
	14	ビジネス文書作成１２（メール文章・メールの設定）
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定の得点ならびに課題で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会で活躍できる人材育成をテーマに、基本的なビジネスマナーの習得、幅広い分野で役に立つコミュニケーションスキルの習得など、面接試験に必要な知識を身につける。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	民間企業で営業企画経験のある職員が面接においての立ち居振る舞いや効果的な自己ＰＲの作成方法、またよくある面接質問事例やその答え方につき実例をあげながら講義する。
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己ＰＲ作成① 5 自己ＰＲ作成② 6 自己ＰＲ作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 会計事務所・企業研究① 11 会計事務所・企業研究① 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験2試験種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成１
	2	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成２
	3	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成３
	4	面接講義
	5	面接効果測定
	6	模擬面接Ⅰ準備
	7	模擬面接Ⅰ準備
	8	模擬面接Ⅰ１
	9	模擬面接Ⅰ２
	10	模擬面接Ⅰ３
	11	模擬面接Ⅱ準備
	12	模擬面接Ⅱ準備
	13	模擬面接Ⅱ１
	14	模擬面接Ⅱ２
	15	模擬面接Ⅱ３
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 模擬効果測定準備 12 模擬効果測定 13 模擬効果測定結果検証 14 伝言を含む電話応対（講義１） 15 伝言を含む電話応対（練習１） 16 伝言を含む電話応対（講義２） 17 伝言を含む電話応対（練習２） 18 伝言を含む電話応対（実践練習１） 19 伝言を含む電話応対（実践練習２） 20 効果測定準備 21 効果測定 22 冠婚葬祭のマナー 23 郵便のマナー 24 電話での道案内 25 クレーム対応 26 ビジネスマナー総合１ 27 ビジネスマナー総合２ 28 ビジネスマナー総合３ 29 ビジネスマナー総合４ 30 ビジネスマナー総合５
成績評価方法 （試験実施方法）	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCELの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 パソコンの基本操作１ 2 パソコンの基本操作２ 3 パソコンの基本操作３ 4 パソコンの基本操作４ 5 パソコンの基本操作５ 6 パソコンの基本操作６ 7 OS/OFFICEの基本（座学） 8 WORDの基本操作１ 9 WORDの基本操作２ 10 WORDの基本操作３ 11 WORD効果測定 12 EXCEL基本操作１ 13 EXCEL基本操作２ 14 EXCEL基本操作３ 15 EXCEL効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅳ　数的総合
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	４０時間（２単位）
授業コマ数	２０コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式 2 方程式 3 整数・計算パズル 4 整数・計算パズル 5 割合と比 6 割合と比 7 速さ 8 速さ 9 仕事算 10 場合の数 11 確率 12 論理 13 集合の要素 14 順序 15 順序 16 位置・方位 17 対応 18 勝敗・うそつき 19 暗号、推理・手順 20 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅰ　生物・地学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２８時間（１単位）
授業コマ数	１４コマ
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋Ⅰ 12 大気と海洋Ⅱ 13 太陽系と宇宙の構造Ⅰ 14 太陽系と宇宙の構造Ⅱ、地球と人類
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅱ　物理・化学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２８時間（１単位）
授業コマ数	１４コマ
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造１ 9 物質の構造２ 10 物質の状態１ 11 物質の状態２ 12 物質の変化１ 13 物質の変化２ 14 無機化合物
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ　自然科学	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１６時間（１単位）	
授業コマ数	８コマ	
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物総合演習
	2	物理総合演習
	3	物理総合演習
	4	化学総合演習
	5	化学総合演習
	6	数学総合演習
	7	数学総合演習
	8	地学総合演習・科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む5模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 地方公務員タイプの模擬試験１ 2 国家公務員タイプの模擬試験１ 3 地方公務員タイプの模擬試験２ 4 国家公務員タイプの模擬試験２ 5 国家公務員タイプの模擬試験３ 6 国家公務員タイプの模擬試験４ 7 消防官タイプの模擬試験１ 8 地方公務員タイプの模擬試験３ 9 実践的なレベルの模擬試験１ 10 警察官タイプの模擬試験１ 11 選択式（地方公務員２タイプ・裁判所）模擬試験 12 刑務官タイプの模擬試験 13 警察官タイプの模擬試験２ 14 実践的なレベルの模擬試験２ 15 地方公務員タイプの模擬試験４ 16 地方公務員タイプの模擬試験５ 17 消防官タイプの模擬試験２ 18 警察官タイプの模擬試験３ 19 地方公務員タイプの模擬試験６ 20 地方公務員タイプの模擬試験７ 21 地方公務員タイプの模擬試験８ 22 国家公務員タイプの模擬試験５ 23 国家公務員タイプの模擬試験６ 24 国家公務員タイプの模擬試験７ 25 国家公務員タイプの模擬試験８ 26 国家公務員タイプの模擬試験９ 27 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験１ 28 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験２ 29 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験３ 30 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験４ 31 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験５ 32 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験１ 33 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験２ 34 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験３ 35 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験４ 36 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験５ 37 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験１ 38 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験２ 39 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験３ 40 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験４ 41 選択式（地方公務員２タイプ・刑務官）模擬試験 42 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験１ 43 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験２ 44 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験３ 45 地方公務員タイプの模擬試験９
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	１０２時間（４単位）	
授業コマ数	５１コマ	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1・2	地方公務員タイプの模擬試験１
	2・3	地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説
	4・5	地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説
	6・7	選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験１・当該模擬試験の解説
	8・9	国家公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説
	10・11	国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説
	12・13	国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説
	14・15	国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説
	16・17	選択式（国家公務員・消防官）模擬試験１・当該模擬試験の解説
	18・19	選択式（国家公務員・消防官）模擬試験２・当該模擬試験の解説
	20・21	選択式（国家公務員・消防官）模擬試験３・当該模擬試験の解説
	22・23	選択式（国家公務員・消防官）模擬試験４・当該模擬試験の解説
	24・25	選択式（国家公務員・消防官）模擬試験５・当該模擬試験の解説
	26・27	国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説
	28・29	選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験１・当該模擬試験の解説
	30・31	選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験２・当該模擬試験の解説
	32・33	選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験３・当該模擬試験の解説
	34・35	選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験４・当該模擬試験の解説
	36・37	選択式（地方公務員２タイプ・警察官・自衛官）模擬試験・当該模擬試験の解説
	38・39	選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験２・当該模擬試験の解説
	40・41	選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験３・当該模擬試験の解説
	42・43	選択式（地方公務員２タイプ・刑務官）模擬試験・当該模擬試験の解説
	44・45	地方公務員タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説
	46・47	選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験１・当該模擬試験の解説
	48・49	選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験２・当該模擬試験の解説
	50・51	選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験３・当該模擬試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価	
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	総合的なタイプの模擬試験１
	2	模擬試験１の解説
	3	総合的なレベルの模擬試験２
	4	模擬試験２の解説
	5	総合的なレベルの模擬試験３
	6	模擬試験３の解説
	7	総合的なレベルの模擬試験４
	8	模擬試験４の解説
	9	総合的なレベルの模擬試験５
	10	模擬試験５の解説
	11	総合的なレベルの模擬試験６
	12	模擬試験６の解説
	13	総合的なレベルの模擬試験７
	14	模擬試験７の解説
	15	総合的なレベルの模擬試験８
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	４０時間（２単位）
授業コマ数	２０コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下の平等 5 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 7 表現の自由 8 表現の自由、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習１ 18 総合演習２ 19 総合演習３ 20 総合演習４
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民法	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	６８時間（３単位）	
授業コマ数	３４コマ	
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	権利能力、意思能力と行為能力
	2	無効・取消し
	3	意思の不存在、瑕疵ある意思表示
	4	代理権
	5	代理行為、無権代理
	6	無権代理と相続、表見代理
	7	時効総説、時効の完成猶予・更新
	8	取得時効、消滅時効、物権の効力
	9	物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義）
	10	物権変動と登記の要否
	11	即時取得制度、占有の効力
	12	共有、地役権
	13	担保物権総論、留置権
	14	抵当権
	15	復代理、質権
	16	法定地上権、譲渡担保
	17	債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償
	18	債権者代位権
	19	詐害行為取消権（債権者取消権）
	20	連帯債務、保証債務
	21	債権譲渡
	22	弁済、相殺
	23	契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除
	24	売買（１）
	25	売買（２）
	26	賃貸借
	27	不当利得
	28	不法行為
	29	婚姻、親子関係
	30	相続、遺留分
	31	弁済の提供、受領遅滞、解除の効果
	32	贈与、請負、委任
	33	総まとめ①
	34	総まとめ②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３８時間（２単位）	
授業コマ数	１９コマ	
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	行政法の一般的な法理論
	2	行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類
	3	行政行為の効力・瑕疵
	4	行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅
	5	行政行為の附款、行政強制
	6	行政罰、行政調査
	7	行政契約、行政計画、行政指導
	8	行政立法、行政手続法
	9	行政手続法、手続の瑕疵
	10	行政機関情報公開法
	11	行政救済法一般、行政不服審査法
	12	行政不服審査法
	13	行政事件訴訟法(取消訴訟)
	14	行政事件訴訟法(取消訴訟)
	15	行政事件訴訟法(その他抗告訴訟)
	16	国家賠償法
	17	国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題
	18	行政組織法、地方自治法
	19	地方自治法、総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（２単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察　テーマ１
	2	情報収集と考察　テーマ２
	3	情報収集と考察　テーマ３
	4	情報収集と考察　テーマ４
	5	情報収集と考察　テーマ５
	6	情報収集と考察　テーマ６
	7	情報収集と考察　テーマ７
	8	情報収集と考察　テーマ８
	9	情報収集と考察　テーマ９
	10	情報収集と考察　テーマ１０
	11	情報収集と考察　テーマ１１
	12	情報収集と考察　テーマ１２
	13	情報収集と考察　テーマ１３
	14	情報収集と考察　テーマ１４
	15	情報収集と考察　テーマ１５
成績評価方法 （試験実施方法）	提出物の内容を評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定２級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正１ 5 誤字訂正２、類義語 6 反対語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験１ 9 項目別模擬試験２ 10 項目別模擬試験３ 11 直前模擬試験１ 12 直前模擬試験２ 13 直前模擬試験３ 14 直前模擬試験４ 15 直前模擬試験５
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定１級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語
	2	同音異義・異字同訓
	3	誤字訂正、類義語・反対語
	4	漢字の意味・使い方
	5	漢字の意味・使い方２
	6	ことわざ・故事成語・慣用句
	7	特殊な漢字の読み書き
	8	項目別模擬試験１
	9	項目別模擬試験２
	10	項目別模擬試験３
	11	直前模擬試験１
	12	直前模擬試験２
	13	直前模擬試験３
	14	直前模擬試験４
	15	直前模擬試験５
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	９０時間（３単位）	
授業コマ数	４５コマ	
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、7試験種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接講義
	2	面接効果測定準備
	3	面接効果測定
	4-6	模擬面接（試験種Ⅰ）
	7-9	模擬面接（試験種Ⅰ）
	10-12	模擬面接準備（試験種Ⅱ）
	13-15	模擬面接（試験種Ⅱ）
	16-18	模擬面接準備（試験種Ⅲ）
	19-21	模擬面接（試験種Ⅲ）
	22-24	模擬面接準備（試験種Ⅳ）
	25-27	模擬面接（試験種Ⅳ）
	28-30	模擬面接準備（試験種Ⅴ）
	31-33	模擬面接（試験種Ⅴ）
	34-36	模擬面接準備（試験種Ⅵ）
	37-39	模擬面接（試験種Ⅵ）
	40-42	模擬面接準備（試験種Ⅶ）
	43-45	模擬面接（試験種Ⅶ）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価	
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ
授業概要	10試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅴ） 31-33 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 34-36 模擬面接（試験種Ⅵ） 37-39 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 40-42 模擬面接（試験種Ⅶ） 43-45 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 46-48 模擬面接（試験種Ⅷ） 49-51 模擬面接準備（試験種Ⅸ） 52-54 模擬面接（試験種Ⅸ） 55-57 模擬面接準備（試験種Ⅹ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅹ）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢で評価
備考	模擬面接準備・模擬面接には集団討論対策も含む

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習１ 2 適性試験練習２ 3 適性試験練習３ 4 適性試験練習４ 5 適性試験練習５ 6 適性試験練習６ 7 適性試験練習７ 8 適性試験練習８ 9 適性試験練習９ 10 適性試験練習１０ 11 適性試験練習１１ 12 適性試験練習１２ 13 適性試験練習１３ 14 適性試験練習１４ 15 適性試験練習１５ 16 適性試験練習１６ 17 適性試験練習１７ 18 適性試験練習１８ 19 模擬試験（適性試験）１ 20 模擬試験（適性試験）２ 21 模擬試験（適性試験）３ 22 模擬試験（適性試験）４ 23 模擬試験（適性試験）５ 24 模擬試験（適性試験）６ 25 模擬試験（適性試験）７ 26 模擬試験（適性試験）８ 27 模擬試験（適性試験）９ 28 模擬試験（適性試験）１０ 29 模擬試験（適性試験）１１ 30 模擬試験（適性試験）１２
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公安職種の体力試験に関する研究
	2	筋力トレーニング
	3	筋力トレーニング
	4	筋力トレーニング
	5	筋力トレーニング
	6	筋力トレーニング
	7	筋力トレーニング
	8	筋力トレーニング
	9	集団演技１
	10	集団演技２
	11	集団演技３
	12	集団演技４
	13	集団演技５
	14	集団演技６
	15	集団演技７
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、出席状況によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間（１単位）
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ１時間
授業概要	主な官庁の研究を行う
授業の進め方	講義を実施後、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	公務員実務経験のある教員による、実務での経験を通じ、官庁研究における具体的な研究手法のアドバイス、助言を行う
授業計画	1 官庁に関する講義① 2 レポート作成１ 3 レポート作成２ 4 レポート作成３ 5 官庁に関する講義② 6 レポート作成１ 7 レポート作成２ 8 レポート作成３
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間（１単位）
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ１時間
授業概要	主な官庁の研究を行う
授業の進め方	講義を実施後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	公務員実務経験のある教員による、実務での経験を通じ、仕事内容理解のためのアドバイス、助言を行う
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義②（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間（１単位）
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ１時間
授業概要	官庁に関する講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官庁に関する講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	主な官庁研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	公務員実務経験のある教員による、実務経験、業務を通じての講義、研究により官庁や仕事内容を理解し、スムースな就職の実現のサポートを行う。
授業計画	1 地方行政に関する講義① 2 個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 地方行政に関する講義②（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅴ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間（１単位）
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ１時間
授業概要	主な官庁の研究を行う
授業の進め方	官庁に関する講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	公務員実務経験のある教員による、実務経験、業務を通じての講義による研究課題を実施することで官庁や仕事内容の理解をより深める一助とする
授業計画	1 警察職・消防職における講義１（または演習・実習） 2 レポート作成１ 3 レポート作成２ 4 レポート作成３ 5 警察職・消防職における講義２（または演習・実習） 6 レポート作成１ 7 レポート作成２ 8 レポート作成３
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間（１単位）
授業コマ数	１０コマ
授業概要	様々な職種のガイダンスを開き、職種への理解を深める
授業の進め方	話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	公務員実務経験のある教員による、職種別ガイダンスを受講し、官庁や仕事内容の理解をより深める
授業計画	1 職種別ガイダンス１ 2 職種別ガイダンス２ 3 職種別ガイダンス３ 4 職種別ガイダンス４ 5 職種別ガイダンス５ 6 職種別ガイダンス６ 7 職種別ガイダンス７ 8 職種別ガイダンス８ 9 職種別ガイダンス９ 10 職種別ガイダンス１０
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、提出物の完成度などによって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間（１単位）
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ１時間
授業概要	公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	公務員実務経験のある教員による、法令や服務規程などを学び、心構えを身につけることで、スムーズな入庁の援助を図る
授業計画	1 公務員服務規程 2 公務員関連の法令研究１ 3 公務員関連の法令研究２ 4 公務員服務規程の研究１ 5 公務員服務規程の研究２ 6 レポート作成 7 レポート作成 8 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	提出レポートの完成度によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	身近な法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	法律概論（講義）
	2	課題の提示（講義）
	3	課題①の研究１
	4	課題①の研究２
	5	課題②の研究１
	6	課題②の研究２
	7	課題③の研究１
	8	課題③の研究２
	9	研究発表シナリオ作成１
	10	研究発表シナリオ作成２
	11	研究発表準備１
	12	研究発表準備２
	13	模擬プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科（昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究１ 4 課題研究２ 5 課題研究３ 6 課題研究４ 7 課題研究５ 8 課題研究６ 9 研究発表シナリオ作成１ 10 研究発表シナリオ作成２ 11 研究発表準備１ 12 研究発表準備２ 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	